

北海道議會時報

特集
第4回定例道議會
第31回衆議院議員総選挙結果

第19卷第1号

昭和42年1月



北海道議會事務局

—— 第 1 号 目 次 ——

議 会 の 動 き

第4回定例道議会	1
本 会 議	2
決 議	16
議会運営委員会	18
常 任 委 員 会	20
特 別 委 員 会	25
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
道庁舎建設調査特別委員会	
災害対策特別委員会	
予算特別委員会	

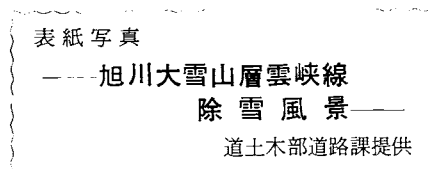
会 合

全国都道府県議会議長会	31
-------------	----

資 料

第31回衆議院議員総選挙結果(速報)	31
--------------------	----

12 月 の メ モ



議会の動き

第4回定例道議会

- ① 第4回定例道議会は、12月15日招集され、同日開会、会期を12月24日まで10日間に決定、ついで、41年度補正予算をはじめ、道職員給与改定関係条例案、40年度決算等41件が上程され、知事から提案説明を聴取の後、中小企業倒産の諸問題について緊急質問(1人)が行なわれ、議案調査のため12月16日、1日間、休会した。
- ② 代表質問は、休会明けの17日、一般質問は、19日に行なわれ、同日、17人からなる予算、決算両特別委員会を設置、このあと各委員会付託議案審査のため、20日から22日まで3日間休会した。
- ③ 代表質問および一般質問においては、総合開発問題、北方圏経済体制確立問題、道財政問題、公共料金値上げ問題、中小企業倒産対策、冬季交通事故防止対策、海難防止対策、若年労働力の確保対策、年末治安対策、高校再編成と偏向教育防止対策、国立大学設置問題、道営競

馬存廃問題、青少年問題および綱紀肅正等の諸問題が取り上げられた。

- ④ 予算特別委員会は、19日に設置され、41年度補正予算等に対する審議が連日行なわれたが、予定の会期には審査を終えるに至らず(24日の本会議において会期を26日まで2日間延長)、会期末の26日質疑を終結して直ちに意見の調整に入り、同日、付託案件のすべてを可決した。
- ⑤ 会期末の26日は、まず、41年度補正予算等を委員長報告のとおり可決の後、前々回から提案を見送っていた特別職職員等報酬改定案件が上程され、知事から提案説明を聴取の後、委員会付託を省略してこれを即決、ついで監査、公安委員等一連の人事案件を原案どおり同意議決したあと、社会党から、教育長の解任要求決議案が提出され、討論、採決の結果、これを否決、このあと40年度決算をつぎの議会まで閉会中継続審査に付することに決定して、いつさいの案件を議了、開会以来、12日目の12月26日深更、閉会した。
- ⑥ 提出案件の処理状況はつぎのとおり。

提出者	提出件数	議決の状況					計
		原案可決	否決	同意議決	報告のみ	閉会中継続審査	
知事	52	47	—	2	2	1	52
議員	3	2	1	—	—	—	3
合計	55	49	1	2	2	1	55

第4回定例道議会に知事から提出のあつた案件

議案

提出月日	番号	件名	議事経過
12.15	1	昭和41年度北海道一般会計補正予算	12.26 原案可決
同	2	昭和41年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算	同
同	3	昭和41年度北海道立病院特別会計補正予算	同
同	4	昭和41年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算	同
同	5	昭和41年度北海道母子福祉資金貸付事業特別会計補正予算	同
同	6	昭和41年度北海道地方競馬特別会計補正予算	同
同	7	昭和41年度北海道有林野事業会計補正予算	同
同	8	昭和41年度北海道電気事業会計補正予算	同

同	9	昭和41年度北海道工業用水道事業会計補正予算	同
同	10	北海道恩給並びに他の地方公共団体の退職年金及び退職一時金の基礎となるべき在職期間と職員の退職料及び退職給与金の基礎となるべき在職期間との通算に関する条例等の一部を改正する条例案	同
同	11	北海道税条例の一部を改正する条例案	同
同	12	北海道立病院条例の一部を改正する条例案	同
同	13	北海道立療養所条例の一部を改正する条例案	同
同	14	北海道立農業技術講習所条例の一部を改正する条例案	同
同	15	北海道立労働会館使用条例の一部を改正する条例案	同
同	16	北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案	同
同	17	北海道立図書館条例の一部を改正する条例案	同
同	18	風俗営業等取締法施行条例の一部を改正する条例案	同
同	19	銃砲刀剣類所持等取締法に基づく許可証及び登録証の交付等手数料条例を廃止する条例案	同

⑦ 今会期中の緊急質問

○年末を控えての中小企業の倒産に対する諸問題について
高田議員（社会）

本 会 議

○12月15日 午後2時10分開議、岩本議長第4回定例道議会の開会を宣し、引き続き開議、日程第1会議録署名議員の指定を行ない、諸般の報告の後、つぎに日程第2会期決定の件を議題とし、会期を12月15日から24日まで10日間に決定、つぎに日程第3陳情第906号および第907号を議題とし、異議なく石炭対策特別委員会に付託することに決定、つぎに日程第4議案第1号ないし第40号および報告第1号を議題とし、知事から提案説明を聴取、つぎに、10月19日焼失の八雲高校について、教育長から、概況報告および遺憾の意の表明があり、ついで日程に追加して、高田議員（社会）から、「年末を控えての中小企業の倒産に対する諸問題」について緊急質問、知事から答弁、高田議員から再質問、知事から答弁、つぎに議案調査のための休会についてはかり、12月16日、1日開休会、17日再開することに決定して、午後3時52分延会。

同	20	北海道公営企業条例の一部を改正する条例案	同
同	21	北海道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例案	同
同	22	北海道有林野条例の一部を改正する条例案	同
同	23	地方公営企業法の規定の適用の特例に関する条例案	同
同	24	苫小牧港管理組合規約の一部改正に関する件	同
同	25	北海道道の路線の認定及び廃止に関する件	同
同	26	財産の取得に関する件	同
同	27	損害賠償の額の決定に関する件	同
同	28	損害賠償の額の決定に関する件	同
同	29	松山郡上ノ国村を上ノ国町とするの件	同
同	30	空知郡南富良野村を南富良野町とするの件	同
同	31	夕張市と夕張郡栗山町との境界変更の件	同

同	32	昭和41年度北海道一般会計補正予算	同
同	33	昭和41年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算	同
同	34	昭和41年度北海道立病院特別会計補正予算	同
同	35	昭和41年度北海道有林野事業会計補正予算	同
同	36	昭和41年度北海道電気事業会計補正予算	同
同	37	北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同
同	38	北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同
同	39	市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同
同	40	北海道地方警察職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同
12.19	41	札幌市手稲町を廃し、その区域を札幌市に編入するの件	同
同	42	札幌市と札幌市手稲町との合併に伴う北海道議会議員の選挙区の特例に関する条例案	同
12.26	43	昭和41年度北海道一般会計補正予算	同

知事説明要旨

ただいま議題となりました昭和41年度北海道補正予算案等について、その大要をご説明申し上げます。

まず、議案第1号昭和41年度北海道一般会計補正予算につきましては、国庫支出金等の確定に伴う経費および臨時的な経費等についてそれぞれ措置しようとするものでありまして、歳入歳出補正予算の総額は

一般会計	40億7,059万円
特別会計	3億2,875万円
合計	43億9,934万円

となるのであります。

一般会計の主なものからご説明申し上げますと、まず、国庫支出金の確定に伴う経費といたしましては、社会厚生関係経費におきまして、失業対策事業について賃金等の改訂に伴う経費として

一般失業対策事業費	3,001万円
-----------	---------

を、また、一般職業訓練生の技能測定および指導員の研修を行なう経費として

職業訓練費	209万円
-------	-------

を計上いたしましたほか、社会福祉施設における措置人員の増加および措置基準の改訂等に伴う経費として

老人福祉費	1,405万円
-------	---------

児童保護育成費	520万円
---------	-------

を計上いたしますとともに、結核入院患者の減少に伴い

結核医療費	4,050万円
-------	---------

の減額措置を講じた次第であります。

つぎに、産業経済関係経費といたしましては、農用施設災害復旧事業において実施計画の変更に伴い、これに要する経費として

耕地災害復旧費	5,785万円
---------	---------

を計上いたしましたほか

学校給食用牛乳供給事業費	4,435万円
--------------	---------

麦緊急生産対策事業費	4,254万円
------------	---------

を計上いたしました。

また、国庫補助金の確定等に伴い、

沿岸漁業経営近代化促進対策事業費	837万円
------------------	-------

林業構造改善対策事業費	1,366万円
-------------	---------

土地改良調査計画費	1,341万円
-----------	---------

農業構造改善事業費	5,491万円
-----------	---------

を、それぞれ減額いたしました。

つぎに、土木関係経費といたしましては、公共事業の追加決定により

緊急河防工事費	1,500万円
---------	---------

災害関連事業費	1,100万円
---------	---------

を計上いたしますとともに、事業計画の変更に伴い

都市計画街路事業費	2,318万円
-----------	---------

議員から提出のあつた案件

決 議 案

提出月日	番号	件 名	議事経過
12.26	1	総合開発調査特別委員会調査経費に関する決議	12. 26 原案可決
同	2	災害対策特別委員会調査経費に関する決議	同
同	3	北海道教育委員会に対し教育長二本木実吉の解任要求決議	12. 26 否 決

報 告

提出月日	番号	件 名	議事経過
12.15	1	昭和40年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	12. 26 閉会中 継続審査
同	2	昭和40年度北海道公有財産取得基金運用に関する件	報 告
同	3	昭和40年度北海道継続費精算報告の件	同

港湾災害関連事業費 2,489万円
を減額いたすこととした次第であります。
つぎに、文教住宅関係経費といたしましては
教員を対象とする冬季スポーツ指導講習会の開催経費として

スキー、スケート指導者講習会費 164万円
を計上いたしましたほか、国庫補助金の確定に伴い
住宅建設費 3,990万円
を減額いたしました。

つぎに、臨時的経費で緊急に措置を要する経費の主なるものとしたしましては、

まず、漁家就労対策についてであります。オホーツク海域において海況等の影響により、さんま漁業等の減産の著しい事態に鑑みこれに対処するため漁業経営資金の融資あつせんに努めるとともに、北海道沿岸漁家経済振興促進助成条例に基づく資金をはじめ、その他の制度資金、系統資金等についても、償還期間延長の措置を講ずることとしたのでありますが、なお生活の維持が困難と認められる漁家について、就労の機会を与えるため、必要事業費総額1,122万円のうち、市町村事業費を336万円と見込み、新たに道事業として救漁土木事業を実施することとし

漁家就労対策費 770万円
を計上いたしますとともに
中小企業金融の円滑を図るため、

北海道信用保証協会損失補償金 8,000万円
を計上いたしました。
つぎに、去る10月19日焼失した八雲高等学校東校舎の応急復旧に要する経費として 529万円

を、また、北方周辺海域におけるたこ漁船乗組員家族に対する見舞金として

たこ漁船乗組員救済費 271万円
を、さらに船舶安全法に基づく船舶救命設備規則の改正に伴い、北海道離島航路整備株式会社に対し救命設備の整備に要する資金を貸し付けすることとして 981万円
を計上いたしました。

つぎに、現在継続捜査の行なわれている未検挙重要事件の特別捜査および歳末警戒等に要する経費として

未検挙重要事件捜査費 240万円
歳末警戒取締費 337万円
統一地方選挙費 600万円

を、それぞれ計上いたしましたほか

江別市西野幌に建設中の道立図書館の移転等に要する経費として

図書館費 587万円

を、また、昭和39年度以来再建整備に努めてまいりました乙部土地改良区に財政援助の措置を講ずることとし、これに要する経費として

土地改良区再建整備助成費 300万円

請 願・陳 情

① 第4回定例道議会において常任委員会および特別委員会に付託された請願、陳情はつぎのとおりである。

請 願	文書 番号	件 名	請 願 者	付託 委員会	審 査 結 果
	266	幌別町道紅葉谷線を道道に 認定の件	登別町長 岩倉 誠一	建設	継続 審査
	267	私学における教育費父母負 担軽減の件	北海道私立学校 教職員組合委員 長 日沼 正栄	文教 労務	同
	268	北海道における航空路線確 保の件	北海道空港協会 会長 米田 忠雄	商工 労働	同
	269	私立幼稚園教育振興の件	北海道学校法人 幼稚園協会会長 石原 通幸	文教 労務	同
	270	室蘭市と登別町との境界変 更の件	幌別郡登別町字 上鷺別9番地 境界変更期成会 会長 安田 正雄	総務	同

陳 情	文書 番号	件 名	陳 情 者	付託 委員会	審 査 結 果
	881	北海道帯広ろう学校に幼稚部設置の件	北海道帯広ろう学校父母と先生の会会長 門崎 長政	文教 労務	継続 審査
	882	北海道八雲高等学校の火災復旧の件	八雲町長 田仲 孝一	同	同
	883	国有林野の活用に関する特別措置法早期実現の件	別海村長 山崎 藤作	同	同
	884	北海道帯広農業高等学校林業科存置の件	帯広農業高等学校林業科存置期成会長 丸山 督	同	同
	885	北海道栗山高等学校応急対策開口維持の件	栗山町長 則武 基雄	同	同
	886	結核長期療養者に冬期見舞措置の件	国立北海道第一療養所療友会長 石山 徳治	厚生	同
	887	国民健康保険事業諸対策の件	北海道国民健康保険団体連合会理事長 西田 信一	同	同
	888	小樽市歯科衛生士学院設立に対し道費助成の件	社団法人小樽市歯科医師会会長 猛 平井	同	同
	889	離島会館建設計画反対の件	雅内旅館組合組合長 大窪松平	同	同
	890	主要道道函館、白尻、森線のうち湯の浜橋に歩道設置の件	函館市湯川観光協会会長 金道 義吉	建設	同

を計上いたしますとともに、農業経営者としての中核青年を畜産先進国に派遣するための助成費として

農業中核者育成費 136万円

を計上いたしました。

つぎに、地方財政法第7条による剰余金の取り扱いにつきまして過般自治省より統一見解が示されましたので、これに基づいて昭和41年度の決算剰余金の2分の1の額を積み立てることとし、

財政調整基金積立 19億1,618万円

を計上いたしました次第であります。

また、庁舎、学校等の用地を確保するため

学校用地購入費 9,205万円

警察署用地購入費 2,430万円

本年度に退職を予定される職員の退職手当として

一般職員分 4億円

警察職員分 1,700万円

教育職員分 7億3,600万円

をそれぞれ計上いたしました。

以上は、歳出予算の主なものについて申し上げたのでありますが、これに見合う財源といたしましては

道 税 11億3,999万円

臨時地方特例交付金 2,700万円

地方交付税 18億3,503万円

使用料及び手数料 2,536万円

国庫支出金 4億9,386万円

財産収入 3,485万円

繰入金 63万円

諸収入 2億1,471万円

道 債 3億1,300万円

をそれぞれ追加補正するとともに

分担金及び負担金 692万円

を減額補正することによって収支の均衡を図った次第であります。

つぎに、特別会計について申し上げます。

まず、札幌医科大学附属病院特別会計におきましては、診療収入の増に伴う医薬材料費、円山分院の敷地購入に要する経費等をあわせて 1億6,514万円を計上いたしました。

また、道有林野事業会計におきましては伐採事業の合理化を図るため製品生産事業について債務負担行為の措置を講ずることといたしました。

つぎに、議案第11号北海道税条例の一部を改正する条例案は、地方税法の一部改正に伴い、退職所得の課税方式ならびに個人の住民税および事業税の中告手続等について所要の改正を行なおうとするものであり、

議案第12号北海道立病院条例の一部を改正する条例案は、道立千歳病院を千歳市に移管するため、この条例を制定しようとするものであり、議案第13号北海道立療養所条

891	主要道道函館、白尻、森線の道路改良工事早期完成等の件	函館市長 吉谷 一次	同	同
892	道道月形、江別線のうち新篠津村道道改良促進期成会及び凍雪害防止工事施行の件	新篠津村道長 宮田 一正	同	同
893	函館市及び上磯町地内普通河川常盤川を2級河川に認定等の件	函館市長 吉谷 一次	同	同
894	釧路村地内道費河川別保川の改修工事施行の件	釧路村長 泉 重	同	同
895	静内町地内普通河川古川真沼津川を2級河川に認定の件	静内町長 服部 吟次郎	同	同
896	室蘭警察署輪西巡査部長派出所新築の件	室蘭市長 高澤 豊次郎	総務	同
897	手稲町を廃しその区域を札幌市に編入の件	札幌市長 原田 与作	同	採択
898	千歳市茶加地区道営かんがい排水事業実施の件	千歳市長 米田 忠雄	農地継続開拓	同
899	原料てん菜集荷量の調整の件	道南地域てん菜振興協議会会長 篠崎 栄	農務	同
900	帯広市に重症心身障害児療育施設設置の件	帯広市長 吉村 博	厚生	同
901	旭川市に国立大学設置の件(外1件)	旭川大学設立期成会会長 五十嵐 広三	総務	同
902	苫小牧職業訓練所に自動車整備及び電気科増設並びに寄宿舎建設の件	苫小牧市長 大泉 源郎	商工	同

903	道立網走職業訓練所に建設機械科農機具修理科増設の件	網走市長 佐藤 忠吉	同	同
904	道内に国立大学新設の件	北海道市長 原田 与作	総務	同
905	らい患者用バスの更新に対し道費助成の件	財団法人厚生会会長 栗生 秀直	厚生	同
906	夕張市に炭鉱保安教育訓練所設置の件	夕張市長 橋本 末吉	石炭対策	同
907	美唄市に炭鉱保安センター設置の件	美唄市長 沢田 孝夫	同	同
908	月形町立養護老人ホーム設置の件	月形町長 岩崎 直吉	厚生	同
909	結核長期療養者に冬期見舞金品支給の件	道立釧路療養所 山田 義房	同	同
910	道立幌西療養所新築の件	札幌市月寒中央通り3丁目日本患者同盟北海道連合会 阿部 良雄	同	同
911	利礼会館建設に対する道費補助反対の件	北海道旅館環境衛生同業組合理事長 佐々木 徳三郎	同	同
912	洞爺教員保養所を養護学校として充実の件	日本患者同盟北海道連合会 阿部 良雄	文教	同
913	水族館新設に対し助成の件	稚内市長 浜森 辰雄	水産	同
914	釧路西港建設に伴う漁業問題早期解決の件	釧路市長 山口 哲夫	同	採択

例の一部を改正する条例案は、結核患者の減少に伴い道立旭川療養所を廃止しようとするものであり、

議案第16号北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案は、町立高等学校の移管を受けるため、この条例を制定しようとするものであります。

また、議案第20号ないし議案第23号は、地方公営企業法の一部改正に伴い地方公営企業の設置と経営の基本についての関係規定、企業職員の給与の種類および基準等に関し、これを定めようとするものであり、

議案第25号北海道道の路線の認定及び廃止に関する件は、西野真駒内停車場線ほか38路線を道道の路線に認定し、またこれにより重複することとなる静内停車場線ほか4路線を廃止するため、道路法第7条第2項の規定により議決を得ようとするものであり、

議案第26号財産の取得に関する件は、北海道百年記念事業用地の取得について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議決を得ようとするものであります。

また、議案第29号および議案第30号は、松山郡上ノ国村ならびに空知郡南富良野村をそれぞれ町とすることについて、地方自治法第8条第3項の規定により議決を得ようとするものであります。

つぎに給与改定に関連する予算案等についてご説明申し上げます。

去る11月17日北海道人事委員会より道職員ならびに学校教職員等の給与改定についての勧告がありましたので、今回これを尊重して所要の措置を講じようとするものでありまして、議案第32号ないし議案第36号の予算案はいずれも、給与改定に伴う所要額について積算いたしましたものであり、一般会計の総額は29億2,883万円円で、これを職員別にみますと

一般職員分	9億8,931万円
教育職員分	16億8,135万円
警察職員分	2億5,817万円

となるのであります。

以上の歳出に見合う財源といたしましては

道税	5億5,278万円
地方交付税	16億5,833万円
使用料及び手数料	1,075万円
国庫支出金	7億0,015万円
財産収入	58万円
繰入金	480万円
諸収入	144万円

をもって収支の均衡を図つた次第であります。

つぎに、特別会計につきましては、各会計ごとに事業収入、一般会計からの繰入金を見合いに、給与改定に伴う所要額の補正を行なうこととして1億3,101万円を計上いたしました次第であります。

915	野沢石綿山部鉱山閉山撤収の件	富良野市山部商工会長 磯谷 忠次	商工労働	同
916	野沢石綿山部鉱山閉山対策の件	富良野市長 高松 竹次	同	同
917	道道川西、芽室、音更線帯広市地内中島橋に照明灯設置の件	帯広市長 吉村 博	建設	継続審査
918	釧路西港建設促進の件	釧路市長 山口 哲夫	同	同
919	南空知地域の道路整備の件	南空知町村議会議長 会長 野々川春一	同	同
920	北方地域への墓参の件	社団法人千島函館諸島居住者連盟理事長 山下 亮輔	総務	同
921	幌泉町に北海道肉牛センター設置の件	日高町村会長 浜口 光輝	農務	同
922	函館産業会館建設に対する補助金交付の件	函館商工会議所 会長 山村 喜作	商工労働	同
923	観光道路整備促進の件	社団法人北海道観光連盟会長 広瀬 経一	建設	取り下げ
924	観光施設の整備促進の件	同	商工労働	同
925	公園内施設の整備促進の件	同	文教	同
926	道立工業試験場野幌営業分場の新築並びに設備改善の件	江別市長 松川 清	商工労働	継続審査

927	温泉所在地市町村料理飲食等消費税の一部還元の件	社団法人北海道観光連盟会長 広瀬 経一	総務	取り下げ
928	昭和41年冷災害対策の件	北海道農協青年部協議会会長 坪崎 幸一	災害対策	継続審査
929	農業災害対策の件	北海道南空知町村議会会長 野々川春一	同	同
930	産炭地域振興対策の件	同	石炭対策	同
931	産炭地振興対策の件	美唄市長 沢田 孝夫	同	同
932	道道栗山恵庭線の路線変更の件	恵庭町長 田中 菊治	建設	同

② 継続審査中のもの。

請願	文書番号	件名	付委託員	託会	審査結果
252		原料てん菜葉荷地域の変更の件	農務	同	取り下げ
225		神楽町町道西神楽14号道路の道道昇格の件	建設	同	採択
239		道道滝の町伊達線洞爺湖支笏湖線を道道札幌支笏湖線に接続方および主要道道に認定整備の件	同	同	同

つぎに、議案第37号ないし議案第40号は、道職員、学校職員及び警察職員の給与に関する条例の一部を改正しようとするものであり、その概要は全給料表について給料月額引き上げを行なうとともに、扶養手当、通勤手当および初任給調整手当を改正いたしますほか、学校職員、警察職員の管理職手当を国家公務員に準じて改定しようとするものであります。

つぎは、昭和40年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件についてであります。

まず、一般会計につきましては、

歳入決算額 1,600億3,142万円

歳出決算額 1,560億7,589万円

で、差し引き 39億5,553万円

の剰余金を生じたのでありますが、このうち翌年度へ繰り越した継続費および繰越事業費財源に

1億2,316万円

を充当いたしましたので、差し引き 38億3,237万円

が純剰余金となるのであります。

つぎに、特別会計につきましては

歳入決算額 67億1,178万円

歳出決算額 65億8,838万円

で、差し引き 1億2,340万円

が純剰余金となるのであります。

以上、今回提案いたしました予算案ならびにその他の案

件について、その概要をご説明申し上げた次第であります。

よろしくご審議のほどをお願い申し上げます。

○12月17日 午前11時44分開議、諸般の報告の後、日程第1議案第1号ないし第40号および報告第1号を議題とし、代表質問に入り、

村本議員(社会)から、①地方財政問題に関し、特別事業債の元利補給を国が全額補てんすることの見解、道債を還減するために借り入れ限度額を算定したことの有無、道の弁済額および今後10年間の道債償還計画、国債発行下における地方財政対策、新事態に対応する地方財政のあり方ならびに対処方針、②公共料金の値上げおよび公営企業会計に関し、札幌市において21日から、市電、市バス料金を値上げするが、知事の抑制措置に対する努力および対処方策、値上げに対する知事の賛否、市町村公営企業会計の悪化に関し、これが今日まで改善、是正した経過、内容および国に対する折衝内容、③道営競馬存廃問題に関し、不正レースが惹起しているが公正運営の確保対策および改善の具体策方途、馬産振興の具体的な意味、道営競馬継続可否再検討に対する見解、④綱記肅正問題に関し、道職員の不祥事件発生に対する知事の反省、知事の職務に対する考え方、知事権限の拡充、付与に対する見解、釧路、旭川などの新しい町づくりに対

243	道道洞爺湖支笏湖線を主要道道に認定整備の件	同	同
244	沼田町地内道道昭和沼田停車場線及び恵比島、峠下線の整備の件	同	同
254	道道三笠栗山線を積寒法の適用路線に指定の件	同	同
258	特殊学校寮母の勤務条件改善の件	文教林務	同

陳 情

文書番号	件 名	付 託 員 会	審 査 の 果
550	建国記念日制定の件	総 務	議決不要
855	空知郡南富良野村に町制施行の件	同	採 択
868	札幌市内における交通信号機設置の件	同	同
872	松山郡上ノ国村に町制施行の件	同	同
723	精神薄弱者援護施設に対する助成等の件	厚 生	同
797	市町村立養護老人ホームの施設改善に対し道費補助増額の件	同	取り下げ

826	予防接種費を公費負担措置の件	同	採 択
695	産業会館建設に対する補助金交付の件	商工労働	取り下げ
859	農山漁村電気施設の整備充実に係る件	同	採 択
857	昭和41年産大豆基準価格の件	農 務	同
869	昭和41年産馬鈴しよでん粉価格の件	同	同
756	鶴居村地内雪裡川改修工事促進の件	建 設	同
757	道道弟子屈鶴居釧路線中釧路市鶴居間舗装工事施工の件	同	同
759	道道阿寒鶴居標茶線の改良工事促進の件	同	同
760	主要道道夕張岩見沢線の開きく促進の件	同	同
761	中頓別町地内道道乙忠部中頓別線の開きく改良工事施工の件	同	同
762	上士幌町市街道路側溝新設に対し道費補助の件	同	同
763	標津町地内道道般田計根別線の整備促進の件	同	同

する知事の評価、明春知事出馬に対する基本的考え方、⑤道警の綱紀弛緩問題に関し、今後の事案発生の防止および具体的対処方針、⑥教育問題に関し、後期中等教育振興に対する道教委の基本的方針、高校再編成と学科転換に関し、本道の産業開発および人口動態の認識、農林水産学科間口増に対する見解、学力低下の要因、へき地学校の実態に対する教育委員長の認識、教職員勤務条件の改善に対する努力、学校施設の改善整備に対する見解、道教育庁の幹部が10月に夫人同伴で公用車を使用し上川管内当麻町を視察したことについての真相等について質問、議事進行の都合により、午後零時40分休憩、午後2時再開、知事、道警察本部長、教育委員長から答弁、村本議員から再質問、知事から答弁、(なお教育問題答弁のため、教育長登壇したところ、村本議員から(白席)教育委員長に答弁を求めている趣旨の発言があり、議長から教育委員長を指名) ついで教育委員長および教育長から答弁、村本議員から、意見、要望および資料提出要求があつて質疑を終わり、ついで

佐藤議員(自民)から、①北方圏経済体制確立に関し、本道と近隣するカナダ、アラスカ、シベリア、サハリン等北方経済圏を中心とした新しい本道の開発方向を考えるべきと思うことに対する知事の所信、および道の長期開発計画の考え方、②本道における季節性の克服対策に関し、冬季交通網の確保、冬季観光産業の振興、建設業

の通年雇用等の諸対策、③中小企業対策に関し、労働力需給構造の変化に伴う抜本的解決策と方向付けの明示、立ち遅れている流通機構の是正および物価高抑制の基本的考え方、零細商業に対する振興策、④工業対策に関し、工業構造の高度化対策および労働集約化工業としての機械工業に対する振興方策、⑤農業の基本的問題に関し、(このとき、定足数を欠いたため、午後4時休憩、午後4時5分再開)本道農業の位置付けに対する今後の対処方策、⑥若年労働力の確保および勤労青少年問題に関し、職業訓練所または事業内職業訓練所の訓練内容を定時制高校技能教育内容と関連させる方策の樹立、高校通信教育条件の改善および独立校舎の設置に対する見解、定時制高校志願者の減少に対する見解および対処方策、⑦青少年問題に関し、道青少年問題対策協議会の答申に対する取り組み、総合的、長期的施策についての所見等について質問、知事、教育長から答弁があつて、午後4時50分延会。

○12月19日 午前11時7分開議、諸般の報告の後、日程第1議案第1号ないし第40号および報告第1号を議題とし、質疑および一般質問に入り、

奈良議員(自民)から、①郵便ストに関する問題に関し、全通労組の時間外勤務拒否および半日ストに突入した場合の年末郵便等への影響ならびに本問題に対する知

767	道道上士幌線平線凍害害防止工事および舗装工事の早期完成の件	同	同
768	道道上士幌、音更線の改良工事早期着工の件	同	同
769	中頓別町地内2級河川頓別川、兵知安川の指定区間延長および渡兵知安川の2級河川指定の件	同	採 ただし、 渡兵知安 川を除く。
772	道道上士幌、士幌、音更線改良工事早期実施の件	同	採 択
773	上士幌町地内居辺川若葉橋架替工事に対し道費補助の件	同	同
774	居辺川沿道路(上士幌下居辺間)を道道に認定の件	同	同
775	公営住宅建設戸数割当の件	同	同
778	道道小樽定山溪線の整備促進の件	同	同
779	松山北部地域の道路整備促進の件	同	同
781	上士幌町道上士幌、釧田線及び同居辺原野線の道路改良工事実施の件	同	同
803	国土開発幹線自動車道の建設促進の件	同	同
805	自動車専用高速道路の早期建設の件	同	同

806	日勝産業道路を国道に指定の件	同	同
807	留萌港の整備拡充の件	同	同
808	国道並びに地方道の整備促進の件	同	同
809	釧路村沿岸の海岸保全事業促進の件	同	同
810	旭川市神居町地内道道新開旭川線の舗装延長の件	同	同
812	町村道間寒別上猿弘線を道道に認定の件	同	同
818	室蘭～札幌間(美瑛経由)産業自動車道建設促進の件	同	同
820	道道喜茂別白老線の改良工事早期完成等の件	同	同
828	道道奈井江北村岩見沢線中北村岩見沢地内の冬期交通確保の件	同	同
852	町道羽幌原野朝日線を道道に認定の件	同	同
858	国道36号線清田地区歩道拡幅の件	同	同
785	土地改良事業促進の件	農地開拓	同

事の所見、②治安対策に関し、未解決の凶悪事件に対する早期解決、凶悪犯罪の頻発および異常降雪による交通マヒ等歳末を控えての警戒対策、③交通事故防止問題に関し、交通事故防止基本対策の推進に対する本道の特性の具体化、貨物自動車による幼児、歩行者事故激増に対する防止対策、指定自動車教習機関における交通精神の涵養、青少年に対する交通安全道徳の普及徹底に対する見解等について質問、知事、道警察本部長から答弁、つぎに、

砂原議員(社会)から、①交通事故対策に関し、ダンプカー等による交通事故多発は、運転手の労働過重等が大きな要因となっているが、道の労働行政における指導の内容および今後の対策、横断歩道標識に関し、発光標識の設定、30メートル手前に警戒標識の設置方、歩道と車道との分離に対する基本計画の明示、除雪対策、バス停におけるロードヒーティングの実施および防護柵の設置に対する見解、悪質運転免許者の処分対策に関し、酷罰運転者に対し長期間免許証の取り上げ、免許取得直後の事故者に対する再教育対策、公設練習所の設置に対する見解、免許時における身体検査の強化、国道、幹線道路に休憩所、待避所の設置を関係機関へ要請することの見解、母親に対する交通安全教育対策、②海難防止対策に関し、いくえ不明者、遺体捜索体制の強化、遺家族援護の抜本的改革方針の明示、5トン以上20トン未満小型漁船に対し

救命ボート、ラジオブイの完全装備義務付けに対する見解、道の利子補給助成策の拡充強化の意思、海難事故防止のため、条例化による集団操業実施に対する見解等について質問、知事、道警察本部長、教育長から答弁、議事進行の都合により、午後零時47分休憩、午後3時48分再開、諸般の報告の後、つぎに、

林(謙)議員(自民)から、教育内容の中立性確保の諸対策に関し、苫小牧西高において一歴史担当教諭が革命理論を説いた書籍を使用し、強制的に読ませている等の偏向教育が現実に行なわれていることに対する教育長の見解、対馬論文に対する考え方、指定期日までに宿題を出さない生徒に対し、休罰を加えている事実に対する所見、苫小牧西高に対する調査内容の明示、偏向教育防止のための指導管理体制に対する見解、校長の職務命令を拒否した事実の周知、責任ある善後策と抜本的解決策の確立に対する見解等について質問、教育長から答弁、あらかじめ会議時間を延長、林(謙)議員から要望があり、つぎに、

青木議員(社会)から、①財政問題に関し、道税収入の見通し、本年度財政収支の見通し、決算剰余金の処分について、これが累年度方式に踏み切った考え方、警察および教育関係の用地買収予算計上に対する見解、選挙に当たっての政策予算ではないか知事の所見、②国立大学の設置問題に関し、新設計画の有無、教育大学旭川分校の昇

790	農家負債整理対策の件	同	同
744	沖合底曳網漁業禁止区域拡大に関する要望の件	水産	同
823	オホーツク沿岸地帯における生産試験機関の拡充の件	同	同
693	美瑛市産炭地域振興企業経営安定の件	石炭対策特	取り下げ
844	8月集中豪雨による災害復旧対策実施の件	災害対策特	採択
845	8月集中豪雨による災害復旧対策実施の件	同	同
846	8月集中豪雨による災害対策の件	同	同
847	8月集中豪雨による災害復旧対策実施の件	同	同
849	幌向川上流部災害緊急対策工事実施の件	同	同
850	旧幾春別川下流部築堤工事促進の件	同	同

③ さらに継続審査されるもの。

請 願			
文書番号	件 名	付 託	員 会
62	音楽、舞踊等に対する入場税撤廃の件	総	務
68	勤労者音楽協議会に対する不当課税撤回の決議要請の件	同	
227	島松演習場におけるF104Jの演習反対の件	同	
233	郵便物の日曜配達休止に対する要望の件	同	
240	名寄女子短期大学を道立に移管の件	同	
247	社会保障制度確立の件	厚	生
251	医療保障制度確立の件	同	
215	道立遠軽職業訓練所に自動車整備科設置の件	商工労働	
221	中小企業省設置促進の件	同	

格実現の見通しと将来の展望、③木材化学処理の現状と今後の対策、地元小口債権者に対する優遇措置および今後の見通し、④寒冷地手当の免税に対する中央折衝の経過および今後の展望、⑤道立千歳病院の移管および旭川療養所の廃止問題に関し、道立病院、療養所運営の基本方針、充実対策および整備計画の公表、⑥地方公営企業法の規定の適用の特例に関する条例案に関し、これが時限条例とした理由および考え方等について質問、知事から答弁、青木議員から再質問、知事から答弁があつて通告の質疑および質問を終結、ついで山下議員(社会)から、日程第1のうち、予算および決算に関連する議案第1号ないし第9号、第32号ないし第40号および報告第1号については、なお慎重審査の必要があると認められるので、それぞれ17人からなる予算および決算両特別委員会を設置してこれらの案件を付託されたいとの動議が提出され、賛成あつて動議成立、これをはかつて異議なくそのことに決定、直ちに、つぎの委員を議長指名により選任し、議案については予算特別委員会に、報告については、決算特別委員会に付託した。

予算特別委員

石坂幸次(社会) 熊谷不二夫(社会)
大内三治(自民) 諏訪田勝衛(社会)
佐々木豊(自民) 山下策雄(社会)
佐藤幹夫(自民) 中西秀利(自民)

西野実(自民) 奈良敬蔵(自民)
宮本義勝(自民) 黒松秀夫(自民)
村上庄一(自民) 村本政信(社会)
岩田徳治(自民) 高田治郎(社会)
本間義孝(社会)

決算特別委員

武内豊誌(自民) 森春一(自民)
武藤正春(社会) 池田信孝(自民)
河野辰男(社会) 高橋源次郎(自民)
湯田倉治(社会) 沖野政雄(自民)
渡辺浩(社会) 新川輝隆(社会)
岡田義雄(社会) 渡部勇雄(社会)
尾崎勇(自民) 中山信一郎(自民)
神部俊郎(自民) 吉田定次郎(自民)
古沢泰一(自民)

つぎに残余の議案第10号、第11号、第18号、第19号、第26号、第29号ないし第31号は総務委員会に、議案第12号、第13号および第23号は厚生委員会に、議案第14号は農務委員会に、議案第15号、第20号および第21号は商工労働委員会に、議案第16号、第17号、第22号および第27号は文教林務委員会に、議案第24号、第25号および第28号は建設委員会にそれぞれ付託することに決定、つぎに日程に追加して、議案第41号および第42号を議題とし、知事から提案説明を聴取の後、本件を総務委員会に

222	地方鉱業政策確立の件	同
223	産業災害及び職業病対策の件	同
236	物価安定の件	同
248	社会保障制度確立の件	同
259	森町に火山灰地における特別試験地設置の件	農 務
264	寒冷地水稲試験機関設置の件	同
120	準用河川ビリベツ川の氾濫に伴う農業被害補償並びに防災対策実施の件	建 設
165	三石町道本桐停車場線を道道に認定の件	同
180	網走市地内道道浦士別、浜小清水停車場線の延長区間を道道に認定の件	同
199	道道下川ペンケ停車場線の路線一部変更の件	同
220	紋別空港の道管理の件	同
238	湧別町道計呂地若佐線、佐呂間町道若佐計呂地線を道道に認定の件	同

250	俱知安町道樺山比羅夫線を道道に認定の件	同
253	ウヨロ川を2級河川に昇格の件	同
255	御崎、椴法華線を道道に認定整備等の件	同
260	尻岸内町口浦港の水域指定解除の件	同
262	道道清里止別線の積寒法指定及び凍雪害防止工事施行の件	同
14	私立学校に対し道費の助成及び助成制度確立の件	文教林務
16	札幌市における高校定時制教育拡充整備の件	同
25	病虚弱児教育に従事する教員の定数増要望の件	同
33	音楽課程高等学校設置の件	同
51	江別市に道立高等学校新設の件	同
79	高校進学希望者収容計画の修正及び教育費の父母負担軽減等の件	同
93	北海道に美術課程高校設置の件	同

付託することに決定、つぎに各委員会付託議案審査のための休会についてはかり、12月20日から22日まで3日間休会、23日再開することに決定して、午後5時50分散会。

知事説明要旨

ただいま議題となりました議案第41号および議案第42号についてご説明申し上げます。

議案第41号札幌郡手稲町を廃し、その区域を札幌市に編入するの件についてであります。両市町は地形的、社会的に不離一体の関係にありますので、編入することによって住民福祉の向上が期待されますため、地方自治法第7条第1項の規定により議決を得ようとするものであります。

また、議案第42号札幌市と札幌郡手稲町との合併に伴う北海道議会議員の選挙区の特例に関する条例案については、札幌市と札幌郡手稲町との合併に伴い同市および同町の区域に係る北海道議会議員の選挙区について、従前の選挙区によることとするため、この条例を制定しようとするものであります。

よろしくご審議のほどをお願い申し上げます。

○12月23日 午後3時49分開議、諸般の報告の後、日程第1陳情第928号ないし第931号を議題とし、異議なく陳情第928号および第929号は災害対策特別委員会に、陳情第930号および第931号は石炭対策特別委員会に、それぞれ付託することに決定して、午後3時51分散会。

○12月24日 午後4時40分開議、諸般の報告の後、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時41分休憩、午後11時27分再開、日程第1会期延長の件を議題とし、会期を12月25日から26日まで2日間延長することに決定して、午後11時28分散会。

○12月26日 午後4時52分開議、諸般の報告の後、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時53分休憩、午後10時30分再開、諸般の報告の後、日程第1議案第1号ないし第9号、第32号ないし第40号を議題とし、山下予算特別委員長(社会)から、委員会における審査の経過および結果について報告があり、異議なく委員長報告のとおり原案可決、つぎに日程第2議案第10号ないし第31号、第41号および第42号を議題とし、高橋(賢)総務委員長(自民)から、議案第10号、第11号、第18号、第19号、第26号、第29号、第30号、第31号、第41号および第42号について、山元厚生委員長(自民)から、議案第12号、第13号および第23号について、奥野農務委員

166	北海道釧路工業高校の寄宿舎新設の件	同
188	北海道釧路工業高校に柔剣道道場新設の件	同
189	北海道月寒高等学校の公立高校再編成に関する件	同
194	恵庭南高等学校の学級新增設の件	同
197	江部乙高等学校再編成の件	同
217	松前町、福島町及び知内村の山岳地帯、海岸線及び離島等を道立自然公園に指定の件	同
218	北海道交通博物館建設等の件	同
224	稚内高等学校女子寄宿舎新築の件	同
226	北海道栗山高等学校校舎改築の件	同
228	札幌市真駒内団地に道立高等学校設置の件	同
234	北海道ろう学校総合高等部を小樽市に設置の件	同
237	美深町に道立工業高等学校設置の件	同

242	北海道室蘭商業高等学校校舎改築の件	同
256	道立月寒高等学校の学科転換計画に反対の件	同
263	災害対策実施の件	災害対策特
265	冷害対策実施の件	同

陳 情		
文書 表番 号	件 名	付 託 委 員 会
186	国旗掲揚に関する件	総 務
187	沿岸漁業者及び漁業協同組合に対する課税対策の件	同
272	流水公害対策の件	同
644	滝川市に空知支庁税務出張所設置の件	同
746	函館競輪札幌場外売場廃止の件	同
747	北松山町に気象測候所設置の件	同

長(自民)から、議案第14号について、井口商工労働委員長(社会)から、議案第15号、第20号および第21号について、大石文教林務委員長(社会)から、議案第16号、第17号、第22号および第27号について、森建設委員長(自民)から、議案第24号、第25号および第28号について、それぞれ委員会における審査の経過および結果について報告があった後、まず、議案第12号および第13号を問題とし、起立による採決の結果、起立者多数にて委員長報告のとおり原案可決、つぎに議案第10号、第11号、第14号ないし第31号、第41号および第42号を問題とし、異議なく委員長報告のとおり原案可決、つぎに日程第3議案第43号ないし第49号を議題とし、知事から提案説明を聴取の後、委員会付託を省略して異議なく原案可決、つぎに日程第4議案第1号および第2号を議題とし、説明および委員会付託を省略し、原案のとおり可決、つぎに日程第5議案第3号(北海道教育委員会に対し教育長二本木実君の解任要求決議)を議題とし、亀井議員(社会)から提案説明の後、委員会付託を省略して直ちに討論に入り、高橋(辰)議員(自民)から反対、渡辺(浩)議員(社会)から賛成の討論があり、起立による採決の結果、起立者少数にてこれを否決、つぎに日程第6請願、陳情審査の件を議題とし、委員長報告を省略した後、異議なく委員会決定のとおり決定、つぎに決算特別委員長から申し出の報告第1号(昭和40年度北海道各会計歳入歳出に關

する件)について、つぎの議会まで閉会中継続審査とすることに決定、つぎに閉会中請願、陳情審査の件および閉会中事務継続調査の件を議題とし、本件は、各委員長申し出のとおり、閉会中継続審査または調査に付することに決定、以上をもつて今期定例会に付議された案件のすべてを議了、岩本議長から閉会のあいさつがあつて、午後11時22分閉会。

知事説明要旨

ただいま議題となりました議案第43号ないし議案第49号について、その概要をご説明申し上げます。

まず、議案第43号ないし第46号の補正予算案ならびに条例案についてであります。一般職職員の給与改定等の諸事情にかんがみ、北海道議会議員ならびに知事等の報酬および給料の額の改定について、かねて北海道特別職職員報酬審議会に諮問いたしておりましたところ、その答申を得ましたので、今回これに基づいて所要の改定を行ないますとともに、教育長および常勤の特別職の委員の給料の額ならびに日額をもつて定められている非常勤の委員の報酬の額等についてあわせて改定しようとするものであります。

つぎは、議案第47号および議案第48号の人事案件につい

793	大麻田地造成に伴う地元市費負担軽減の件	同
814	北海道減税実現の件	同
815	公害防止条例制定の件	同
816	北海道土地改良事業団体連合会等事務所建築敷地払い下げの件	同
553	生活保護世帯に対する緊急援護の件	厚生
673	旭川市に精神衛生センター設置の件	同
794	大麻田地造成に伴う厚生施設等の地元市費負担軽減の件	同
802	在日朝鮮公民の帰国協定の延長に関する支援要請の件	同
827	水洗便所の改造費に対し道費助成の件	同
853	道立有料老人ホーム設置の件	同
873	終末処理場建設事業費に道費補助実現の件	同
581	道立函館職業訓練所移転による身体障害者特別科目併設の件	商工労働

629	農林水産業に対する失業保険の当然適用要望の件	同
735	道立函館職業訓練所に印刷科設置の件	同
753	札幌市中央卸売市場の施設整備拡充に対し道費助成の件	同
796	室蘭、登別、伊達、虻田、豊浦地域内に労災病院設置の件	同
813	北海道東北開発公庫資金枠の拡大と融資条件緩和の件	同
831	中小企業近代化資金助成法による貸付対象拡大の件	同
832	観光事業に対する投融資強化の件	同
833	商業活動の適正な確保の件	同
834	国鉄輸送体制の確立と貨物輸送改善の件	同
835	中小企業金融の条件緩和と取扱い簡素化等強化拡大の件	同
836	政府金融機関新增設の件	同
837	北海道価格解消の件	同

てであります、12月27日をもつて任期満了となります
 北海道監査委員 徳 永 俊 夫君
 につきましては、適任と認め再任いたそうとするもので
 あり、また、

北海道旭川方面公安委員会委員 名 取 忠 夫君
 の辞任に伴い、後任として 吉 田 正 雄君
 を適任と認め、新たに選任いたそうとするものでありま
 す。

つぎに、議案第49号特別職職員の退職手当の額を定める
 件についてであります、北海道監査委員安斎孫一君の退
 職手当の額について、北海道知事等の退職手当に関する条
 例第3条の規定により、議会の議決を得ようとするもので
 あります。

よろしくご審議のほどをお願い申し上げます。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過
 ならびに結果についてご報告申し上げます。

本委員会は、去る19日に設置され、昭和41年度各会計補
 正予算案ならびにこれに関連する議案4件が付託されたの

であります、委員会といたしましては、すみやかに審査
 を行なうことを目途に、同日正副委員長の互選を行ないま
 すとともに審査の方法等を決定し、20日より各部所管ご
 との質疑に入り、本日をもつて付託案件に対するいつさいの
 質疑を終結いたし、質疑終結後、各派代表者により意見の
 調整をはかりましたうえ、先ほどの委員会におきまして、
 別途お手元に配付の報告書のとおり、結論を得た次第で
 あります。この間、委員各位におかれましては、慎重かつ、
 ご熱心に審議をつくされた次第でありまして、そのご労苦
 に対しましては、衷心より敬意を表する次第であります。

ご承知のとおり、今回付託されました案件は、昭和41年
 度各会計補正予算案ならびに職員の給与関係条例案であり
 まして、補正予算の総額は一般会計、特別会計を合わせて
 74億5,919万5,000円と相なっており、従いまして、これら
 の予算案を中心に、道政全般にわたり熱心な質疑応答が
 かわれた次第であります。

以下各部所管ごとの質疑を通じて論議の対象となりまし
 た主なる点を申し上げますと

企画部、民生部および衛生部の各所管におきましては、
 第2期総合開発計画と釧路西港建設との関連、西港建設問
 題協議会参加に対する考え方および同港建設に伴う漁業補
 償問題解決に対する道の基本的態度、国民健康保険事業会
 計健全化に対する指導方針および全道国保大会要望事項の
 処理状況、保健所技術職員の充足対策、道立千歳病院の千

838	北海道木材化学株式会社更生事件対策の件	同
865	道立室蘭職業訓練所に金属塗装科、電工科増設の件	同
789	農家負債整理対策の件	農 務
866	北海道立中央農業試験場整備拡充の件	同
387	国策パルプ工業株式会社旭川工場放流廃水の件	建 設
602	温根湯、糠平間の産業開発道路新設の件	同
623	上士幌町地内居辺川沿道路の道道認定の件	同
671	七飯町地内町道仁山駅線を道道に昇格の件	同
755	国道241号線の付替工事に伴う主要道路の道道昇格等の件	同
758	道道釧路昆布森尾幌線中一部路線変更の件	同
764	弟子屈町主要町道を道道に認定の件	同
765	今金町道丹羽、豊田線および今金、小若山、丹羽線を道道に認定の件	同

766	大成村道久遠、太櫓線、北松山町道久遠太櫓線を道道に認定の件	同
777	弟子屈町地内尾札部川を2級河川に認定の件	同
780	新篠津村村道北8号線を道道に認定の件	同
791	札幌市地内道道西野月寒線欠壊カ所架橋の件	同
792	大麻田地造成に伴う道路、下水道施設等の地元市費負担軽減の件	同
804	帯広空港の第2種空港昇格の件	同
811	公営住宅入居の収入基準引上げ等の件	同
829	札幌市一般国道231号線を起点とし石狩町道樽川4線を経て道道小樽石狩線を結ぶ道路を道道に認定の件	同
851	建設業関係技能士の処遇の件	同
861	尻別川左岸田村地先改修工事促進の件	同
870	札幌市真駒内に都市公園設置の件	同
871	下水道建設事業費に対し道費補助実現の件	同

歳市移管および道立旭川療養所の廃止に関連して財産評価の考え方および今後の道立病院等の整備計画、道立旭川療養所入所患者を強制移転した事実の有無。

農務部および水産部の各所管におきましては、

道営競馬不正事件に関し、道の認識と態度、および今後の具体的改善対策、道営競馬協力会のあり方と道との関係、道営競馬実施目的と、道営競馬存廃に対する見解、救農土木事業に対する国庫補助制度化についての見解、農村青少年海外派遣補助金計上に関連し、補助事業の適正化に対する見解、交際費追加計上について、その内容と理由、北農機株式会社の倒産問題に関連し、道の農政上の責任およびホクレンの責任についての見解、石狩川沿岸漁家対策に関連して、河川敷地内に漁具倉庫の設置を国に要請する考えの有無および職業転換の現状と今後の計画、海難防止対策に関連して、20トン未満漁船に対する行政指導の具体的内容および漁船、救護器材、連絡施設、漁撈等漁業問題の総合的研究方針と将来計画。

商工部および労働部の各所管におきましては、

野沢石綿山部鉱山の閉山問題に対する労使間交渉妥結の内容、北農機株式会社倒産問題に関連し、倒産の経緯と内容およびこれが再建について道のとつた措置ならびに関連中小企業業者の倒産防止対策等に関する諸問題、若年労働者の問題に関連し、道外流出の防止対策、年少労働者の保護と福祉対策、職業紹介の実態と就職者の定着指導の現状

ならびに労働条件に対する監督指導状況、北農機株式会社倒産による従業員の雇用対策ならびに賃金未払い等に対する道の指導方針。

土木部、建築部および林務部の各所管におきましては、

冬期除雪および排雪の内容と今後の方針、道路整備に関連して、歩道、車道舗装および街路樹の一体的実施に対する見解と歩道造成に対する考え方、道路工手の適正配置の方針、土木機械の管理と整備に対する考え方、河川管理体制の強化対策、とくに行政管理局の勧告事項に対する措置、道営住宅管理上の諸問題とこれが対策、公営住宅建設単価の是正と超過負担解消に対する考え方、林産業の振興に関連して、外材輸入の見通しと港湾の整備対策および地場産業の育成策、製材工場整備の現状と今後の見通し。

公安委員会所管におきましては、

交通事故取り締まり対策、道営競馬不正事件の概要と今後の捜査態度。

教育委員会所管におきましては、

中学校における職業指導に関連して、年少労働者の離職の現状と定着指導の考え方、職業指導主事の配置状況と指導体制強化の方策、交通事故防止の諸対策、高校再編成に関連して、高校全入に対する見解、年次別計画の策定と応急対策間口の解消に対する考え方ならびに昭和42年度計画の策定に当たり、当初計画を変更した経過と理由および地元の理解に対する考え方、修学旅行実施基準の改定に対す

862	農免道路整備事業新規地区採択の件	農地開拓
863	農地集団化事業の拡充強化の件	同
573	沖合底曳網漁業禁止区域拡大に伴う漁業調整基本対策の件	水産
770	標津町薫別漁港改修事業着工の件	同
800	茂辺地漁港局部改修の件	同
822	いか調査船の建造の件	同
854	第1種恵山漁港の船揚場拡張の件	同
80	苫小牧市に道立高等学校新設の件	文教林務
93	北海道美術館建設促進の件	同
127	札幌市に北海道立博物館建設の件	同
158	岩見沢市に道立工業高等学校設置の件	同
232	道立標茶高等学校を農業自営者養成農業高等学校拡充整備計画実施校に指定の件	同

251	北オホーツク道立自然公園指定の件	同
270	昆布森沿岸を道立自然公園に指定の件	同
313	余市地方(小樽市、余市町、大江村)に道立園芸高等学校設置の件	同
327	札幌市定山溪温泉薄別附近に国民休暇村設置の件	同
354	道立恵庭南高等学校の学級増設の件	同
374	札幌市近郊真駒内地区に道立図書館、博物館、美術工芸館、ユースホテル、市民運動場等公共施設誘致の件	同
453	北海道山仁高等学校商業課程の学級増設の件	同
462	北海道教員保養所みずうみ学園の道立養護学校昇格の件	同
470	国有林野道有林野の活用促進の件	同
477	北海道札幌市南高校通信制課程の独立と校舎建設の件	同
478	北海道月寒高等学校の定時制課程学級増設の件	同
563	札幌市に北海道博物館設置の件	同

る考え方と公費負担の軽減策、道立図書館移転後の施設の
利用計画、庁舎等用地購入に関連して、ろう学校高等部の
建設計画の有無、大雪山特別保護地区の設定に関連して、
天然記念物の指定の時期と今後の見通し、公務出張に際し
ての公用車使用の適正化。

総務部所管および総括質疑におきましては、

地方統一選挙立候補予定者の自粛啓発に対する見解、幹
部職員の人事のあり方、支庁幹部職員 欲送迎会のあり方
等道幹部職員の綱紀をめぐる諸問題、時間外勤務手当支給
の適正化、知事等の出張日程の提出をめぐる諸問題、私立
学校の認可方針と指導のあり方、白老町に対する財政指導
の基本的態度、昭和41年度道財政の執行態度、道財産取得
の目的と現況、一般職員の給与改定に伴う臨時職員の給与
改正の必要性、企業職員等の賠償責任にかかわる賠償額に
関し、議会の同意を求める免除範囲、国の委任事務に対す
る知事責任の有無および範囲、朝鮮人学校の認可問題の経
過と他府県における認可の状況および道の認可できない理
由、北農機株式会社倒産問題に関連し、農民、関連中小企
業労働者等への影響および対策

等関係議案についてはもちろん、当面緊急に解決を要す
る道政執行の諸問題について活発なる論議がかわされた次
第であります。しかし、さきに申し上げましたとおり、
質疑終結後、各派代表者間におきまして意見の調整をはか
りましたうえ、先ほどの委員会におきまして、議案第1号

ないし第9号および議案第32号ないし第40号は、いずれも
その内容を適切なるものと認め、原案可決と決定いたしました
次第であります。

なお、議案第1号につきましては、審査の経緯にかんが
み、つぎの意見すなわち、

1 道立医療機関の長期整備計画を樹立すべきである。

1 いなせ事業団の事例にかんがみ、許、認可行政の執行
については、とくに慎重を期すべきである。

以上2項目の付帯意見を付されたいとの動議が提出せら
れ、全会一致これを決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案審査の経過と結果
を申し上げまして、私の報告を終わります。

564	網走南ヶ丘高等学校商業課程の増設の件	同
565	校長及び教頭管理職手当引き上げの件	同
578	上富良野高校(夜間定時)に全日制課程設置の件	同
588	国有林野活用促進のための特別立法の早期制定の件	同
607	帯広農業高等学校農業土木科、林業科の存置の件	同
611	北海道芦別啓南高等学校に看護科設置の件	同
612	江別地方に道立高等学校新設等の件	同
638	私立幼稚園に対する融資制度等実施の件	同
653	町立霧多布高校に家庭課程1学級増設の件	同
676	高等学校の通学区域拡大及び再編成計画に反対の件(外2,548件)	同
691	国有林野活用についての特別措置法の早期制定の件	同
731	留守家庭児童に対する施設設置等の件	同

738	北海道に道立教育研修センター設置の件	同
749	札幌市に道立高等学校設置の件	同
750	北松山高等学校の寄宿舎全面改築の件	同
752	第23回国民体育大会冬季大会スケート競技会を札幌市に開催の件	同
784	上富良野高等学校に昼間季節制の農業科、生活科設置の件	同
787	本道中学校の教育条件整備充実の件	同
795	大麻川地造成に伴う教育施設費の地元市費負担軽減の件	同
817	北海道旭川工業高等学校に木材工芸科新設の件	同
864	国有林解放についての特別立法措置実現の件	同
875	札幌市真駒内緑ヶ丘道有地に記念造林実施の件	同
876	道立野幌高等学校の存続と内容充実の件	同
743	苫小牧臨海工業地帯の工業用水確保の件	総台開発特

決 議

決議案第1号

(41.12.26原案可決)

総合開発調査特別委員会調査経費に関する決議

右の議案を別紙のとおり提出いたします。

昭和41年12月26日

提出者	北海道議会議員	川口常一
同		山田勲
同		青木力
同		池田金助
同		亀井忠衛
同		本間義孝
同		熊谷不二夫
同		岡田義雄
同		神部俊郎
同		伊藤作一
同		深山和園
同		朝日昇信
同		天谷平信
同		伊藤弘
同		村本政信
同		中山信一郎

同 堀田 毅

北海道議会議長 岩本政一殿

決議案第1号

総合開発調査特別委員会調査経費に関する決議

総合開発調査特別委員会の調査経費は、昭和41年4月5日決議の額を通じ、昭和41年度中450万円以内とする。

(理由)

総合開発に関する調査経費について、既定の額では不足を生ずるので、増額しようとするものである。

決議案第2号

(41.12.26原案可決)

災害対策特別委員会調査経費に関する決議

右の議案を別紙のとおり提出いたします。

昭和41年12月26日

提出者	北海道議会議員	西島順三
同		嶋田清一
同		竹内重雄
同		朝日昇
同		大石利雄
同		島田薫
同		西野実
同		亀井忠衛
同		高橋賢一

801	千歳空港を民間専用国際空港として整備の件	同
839	国鉄岩内線(岩内～黒松内)建設促進の件	同
147	苫小牧市を産炭地域に追加指定方要望の件	石炭対策特
198	釧路市を産炭地域振興臨時措置法第6条に基づく地域指定方要望の件	同
326	茅沼炭鉱閉山に伴う旧村振興対策の件	同
368	産炭地中小企業特別融資資金の貸付期間の再延長の件	同
398	厚岸炭鉱閉山に伴う離職者対策の件	同
399	厚岸炭鉱の石炭鉱業整備事業閉による早期買上げの件	同
472	暖房炭の輸送費軽減の件	同
473	砂川市を産炭地域振興臨時措置法第6条の地域として指定の件	同
489	上村鉱業厚岸炭鉱閉山に伴う雇用並びに地区振興対策促進の件	同
490	釧路地域産炭地市町村振興対策の件	同

538	油谷炭鉱閉山対策に関する件	同
580	新鉱開発促進の件	同
727	だん房用燃料業者に対する指導の件	同
737	産炭地振興対策の件	同
782	豊里炭鉱再建の件	同
783	豊里炭鉱振興の件	同
788	石炭鉱業安定対策の件	同
798	石炭産業の安定の件	同
840	石炭輸送私鉄業者の経営安定の件	同
841	石炭産業の長期安定対策樹立の件	同
842	石炭産業の安定並びに産炭地域振興の件	同
843	石炭産業の安定並びに産炭地域振興の件	同

同 沖 野 政 雄
同 林 利 博
同 桶 谷 利 男
同 渡 部 勇 雄
同 佐々木 豊
同 堀 田 毅
同 大 沢 重太郎
同 村 上 庄 一
同 山 下 策 雄
同 山 田 勳
同 坂 下 堯
同 奥 野 善 造
同 原 田 伊曾八

北海道議会議長 岩 本 政 一殿

決議案第2号

災害対策特別委員会調査経費に関する決議

災害対策特別委員会の経費は、昭和41年9月22日決議の額を通じ、昭和41年度中300万円以内とする。

(理由)

災害対策調査経費について、既定の額では不足を生ずるので、増額しようとするものである。

決議案第3号

(42.12.26否決)

北海道教育委員会に対し教育長二本木実君の解任要求決議

右の議案を別紙のとおり提出いたします。

昭和41年12月26日

提出者 北海道議会議員 亀 井 忠 衛
同 遠 藤 英 吉
同 新 川 輝 隆
同 諏訪田 勝 衛
同 嶋 田 清 一
同 渡 部 勇 雄
同 井 口 ゑ み
同 西島羽 米 一
同 佐 野 法 幸
同 岡 田 義 雄
同 山 下 策 雄
同 竹 内 重 雄
同 坂 下 堯
同 大 石 利 雄
同 湯 田 介 治
同 堀 重 平
同 武 藤 正 春
同 村 本 政 信
同 橋 本 清次郎

860	冷害対策の件	災害対策特
874	昭和41年度冷害対策の件	同
877	昭和41年冷災害による農作物被害対策の件	同
878	昭和41年農畜産物冷災害対策の件	同
789	冷害等による商工業者に対する特別金融措置の件	同
880	冷害に関する諸対策の件	同

同	高 田 治 郎
同	熊 谷 不 二 夫
同	太 田 益 夫
同	石 坂 幸 次
同	山 田 勳
同	渡 辺 浩
同	改 発 治 幸
同	砂 原 清 治
同	水 島 ヒ サ
同	青 木 力
同	道 下 美 作
同	河 野 辰 男
同	本 間 義 孝
同	井 野 正 揮
同	糸 川 章 夫
同	塚 田 庄 平

北海道議会議長 岩 本 政 一 殿

北海道教育委員会に対し教育長二本木実

君の解任要求決議

北海道議会は、北海道教育長二本木実君の解任要求を決議する。

(理由)

われわれは昭和40年第2回および第3回道議会において、当時から論議されていた公立高等学校の再編成計画の実施に対する、道教育委員会の基本的態度として、地元側の理解と納得がなければ、強制的に実施することはないと確約したところである。しかるに、今回昭和42年度の再編成計画実施にあたり、地元側関係各機関のうち、相当数の反対表明があるにもかかわらず、道教育委員会告示をもつて一方的に、主観的判断に基づき強引に実施しようとする態度は、公正な地元側の意思に反するのみならず、道議会における答弁を紛飾し、その主旨を歪曲するものである。かかる言動をなさんとする教育長を本道学校教育行政の責任ある立場に置くことは不適正と判断されるものである。

右決議する。

北海道議会

議会運営委員会

○12月15日 午後1時45分、議会運営委員会室において開議、午後1時55分散会、委員長 池田 信孝 (自民)

- ① 総務部長から、第4回定例会提出議案および今後提出予定案件について説明を聴取
- ② 本日の議事は、日程第1会議録署名議員の指定、日程第2会期決定の件は、15日から24日まで10日間、日程第3陳情第906号および第907号は石炭対策特別委員会に付託、日程第4議案第1号ないし第40号および報告第1号を上程し、知事から提案説明、終了後、教育長から、八雲高等学校火災報告を聴取、ついで日程に追加して高田議員(社会)から、「年末をひかえての中小企業の倒産に対する諸問題」について緊急質問約40分を行ない、終わつて、議案調査のため16日、1日間休会、17日再開する、以上の順序にて議事を進めることに決定。
- ③ 代表質問は、17日、社会、自民の順で行ない、通告期限は16日正午まで、一般質問は17日正午まで通告することとした。

○12月17日 午前10時48分、議会運営委員会室において開議、午前10時54分散会、委員長 池田 信孝 (自民)

- ① 代表質問順位表の内容訂正を了承。
- ② 本日の本会議は、日程第1議案第1号ないし第40号および報告第1号を議題とし、代表質問に入り、村本議員(社会)40分、佐藤議員(自民)1時間の順序で行なうことに決定。
- ③ 一般質問の通告期限は本日正午までとし、また、予算および決算両特別委員会の構成は、それぞれ17人(自民10人、社会7人)とし、委員名簿は19日正午まで提出することとした。

○12月19日 午前10時50分、議会運営委員会室において開議、午前10時56分散会、委員長 池田 信孝 (自民)

本日の本会議は、日程第1議案第1号ないし第40号および報告第1号で質疑および一般質問に入り、奈良議員(自民)25分、砂原議員(社会)30分、林(謙)議員(自民)40分、青木議員(社会)20分の順序で行ない、終結後、山下議員(社会)の動議により、予算、決算両特別委を設置し、関係議案を付託、残余の議案については、付託一覧表のとおり付託を行なう、なお議案第23号(地方公営企業法の規定の適用の特例に関する条

例案)は、厚生、建設両委所管にまたがっているが、主たる委員会である厚生委に付託を行ない、水道事業の関係分については建設委において事前に審議をしてもらう扱いとする。つぎに日程に追加して、札幌市と手稲町との合併および選挙区特例議案を上程し、知事提案説明後、総務委員会に付託、このあと、各委員会議案審査のための休会(20日から22日)3日間、23日再開することに決定して散会する、以上の順序にて議事を進めることに決定。

○12月23日 午後3時35分、議会運営委員会室において開議、午後3時38分散会、委員長 池田 信孝(自民)

- ① 山下予算特別委員長(社会)から、委員会の審議状況、局長から、各常任委員会の審議状況について説明を聴取。
- ② 本日の本会議は、陳情4件を災害、石炭両特別委員会に付託し、散会することに決定。

○12月24日 午後11時18分、議会運営委員会室において開議、午後11時20分散会、委員長 池田 信孝(自民)

- ① 局長から、付託議案の各委員会の審議経過について説明。
- ② 委員長から、理事会における申し合わせの内容(予算委員会の審議経過について予算委員長から先程の理事会において報告を求めたところ、総務部所管において3人、総括において5人の質疑が未了とのことであるが、精力的に審議を行ないたいとのことであり、なお、予算のほかにも解決を要する案件もあることであり、正副議長および理事者はもちろん、各党会長、対策委員長等においても、26日にいつさいの案件を議決するよう最大の努力をほらうことを確認し、会期は25日から26日まで2日間延長し、明25日は休会すること)について報告ののち、異議なくこれを確認。
- ③ 準備でき次第会期延長のため本会議を開くことおよび次回委員会は26日午前10時より開催することに決した。

○12月26日 午後10時7分、議会運営委員会室において開議、午後10時22分散会、委員長 池田 信孝(自民)

- ① 総務部長から、追加提案の特別職等の報酬改定、監査委員等の人事案件等について説明を聴取の後、改定委員(社会)から、特別職等の報酬改定に関し、報酬審議会の審議経過、議員報酬に対する概念、各種委員会および議員報酬の基準、常勤委員の職務、議員活動に伴う諸経費について意見があり、異議なく本委員会と

してその線にそつて、結論を出していくことを了承。

- ② 本日の本会議の議事は、日程第1議案第1号ないし第9号、第32号ないし第40号で、予算特別委員長報告後、委員長報告のとおり原案可決、日程第2議案第10号ないし第31号、第41号および第42号は、各常任委員長報告の後採決に入り、まず、議案第12号および第13号を問題とし、起立採決により行ない、ついで残余の議案を簡易採決によつて行なう、日程第3議案第43号ないし第49号は、知事提案説明後、委員会付託を省略して即決、日程第4決議案第1号および第2号は、総合開発、災害対策両特別委員会の調査経費増額であり、説明および委員会付託を省略して即決、日程第5決議案第3号(北海道教育委員会に対し教育長二本木実君の解任要求決議)は、趣旨弁明を亀井議員(社会)が行ない、ついで委員会付託を省略の後、直ちに討論に入り、反対討論を高橋(辰)議員(自民)、賛成討論を渡辺(浩)議員(社会)が行ない、終結後、起立による採決を行なう、日程第6請願、陳情審査の件は、委員長報告を省略の後、委員会報告のとおり決定、つぎに決算特別委員会に付託の報告第1号をつぎの議会まで閉会中継続審査に付することならびに各委員長から申し出の閉会中請願、陳情審査の件および閉会中事務継続調査の件を、各委員長申し出のとおり閉会中継続審査または調査に付し、終わつて議長から閉会のあいさつがあつて閉会する、以上の順序にて議事を進めることに決定。

常 任 委 員 会

総 務 委 員 会

○12月15日 午後1時5分、第1委員会室において開議、
午後1時20分散会、委員長 高橋 賢一(自民)

一 般 議 事

- ① 総務部長、財政課長から、第4回定例会に提出予定の案件について説明を聴取。
- ② 本日付託予定の「手稲町を廃しその区域を札幌市に編入するの件」について16日現地調査を行なうことに決定、派遣委員については、委員長に一任することとした。

○12月19日 午後3時24分、第1委員会室において開議、
午後3時33分散会、委員長 高橋 賢一(自民)

請願、陳情の審査

陳 情

第897号 手稲町を廃しその区域を札幌市に編入の件 (採択)

なお、陳情審査に先立ち、松尾委員(自民)から現地調査の経過報告ならびに総務部長から意見を聴取した。

一 般 議 事

総務部長から、追加提出議案について説明を聴取。

○12月24日 午後零時21分、第3委員会室において開議、
午後零時37分散会、委員長 高橋 賢一(自民)

付託案件の審査

- ① 議案第10号(北海道恩給並びに他の地方公共団体の退職年金及び退職一時金の基礎となるべき在職期間と職員の退職料及び退職給与金の基礎となるべき在職期間との通算に関する条例等の一部を改正する条例案)を議題とし、総務部次長(高橋)から説明を聴取の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第11号(北海道税条例の一部を改正する条例案)を議題とし、総務部次長(高橋)から説明を聴取の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第18号(風俗営業等取締法施行条例の一部を改正する条例案)を議題とし、道警防犯部長から説明を聴取の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ④ 議案第19号(銃砲刀剣類所持等取締法に基づく許可

証及び登録証の交付等手数料条例を廃止する条例案)を議題とし、道警防犯部長から説明を聴取の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ⑤ 議案第26号(財産の取得に関する件)を議題とし、総務部次長(高橋)から説明を聴取の後、津川委員(諸)から、坪当たりの買取値段、河野委員(社会)から、北海道百年祭に伴う今後の買取見通し等について質疑、管財課長から答弁があつて、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ⑥ 議案第29号(松山郡上ノ国村を上ノ国町とするの件)、第30号(空知郡南富良野村を南富良野町とするの件)および第41号(札幌郡手稲町を廃し、その区域を札幌市に編入するの件)を一括議題とし、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ⑦ 議案第31号(夕張市と夕張郡栗山町との境界変更の件)を議題とし、総務部次長(高橋)から説明を聴取の後、

神部委員(自民)から、両市町の面積に変更があるのかどうか

について質疑、総務部次長から答弁があつて異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ⑧ 議案第42号(札幌市と札幌郡手稲町との合併に伴う北海道議会議員の選挙区の特例に関する条例案)を議題とし、総務部次長(高橋)から説明を聴取の後、異議なく原案のとおり可決することに決定、なお、これら議案に関する委員長報告については、委員長に一任することとした。

一 般 議 事

- ① 地方行財政制度改正問題に対する対策の件ほか2件を閉会中継続調査とすることに決定。
- ② 付託の請願、陳情ならびに今後付託予定の請願、陳情についてはいずれも精査を要するものとし、閉会中継続審査の取り扱いとすることに決定。
- ③ 明年度予算折衝については、中央情勢をはあくしつつ委員の派遣等を正副委員長、理事に一任することに決定。
- ④ 松尾委員(自民)から、本日道公安委員が札幌市街の交通事情および風俗営業等の視察をするので、委員会としても視察してはどうかと発言、異議なく発言のとおり実施することに決定。

厚 生 委 員 会

○12月26日 午後3時27分、第5委員会室において開議、
午後3時54分散会、委員長 山元 ミヨ(自民)

付託案件の審査

- ① 議案第12号（北海道立病院条例の一部を改正する条例案）を議題とし、衛生部長から説明を聴取の後、
青木委員(社会)から、道立千歳病院を千歳市に移管することについて現在、職員の再配置の問題等に対する当該組合との話し合いが終わっていないので、急迫移管しなければならない理由はないと考える
旨質疑および意見があり、衛生部長から答弁の後、青木委員から、反対の意思表示があり、ついで挙手による採決の結果、挙手多数にて原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第13号（北海道立療養所条例の一部を改正する条例案）を議題とし、衛生部長から説明を聴取の後、
青木委員(社会)から、道立旭川療養所廃止の理由が現実に合っていないので反対する旨の意見があつた後、挙手による採決の結果、挙手多数にて原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第23号（地方公営企業法の規定の適用の特例に関する条例案）を議題とし、衛生部長から説明を聴取の後、異議なく原案のとおり可決することに決定、委員長報告については、委員長に一任することとした。

一般議事

- ① 明年度予算中央折衝については、中央情勢等諸般の事情等を考慮して委員の派遣等を行なうこととし、この取り扱いを委員長に一任することに決定。
- ② 当委員会付託の請願、陳情はいずれも閉会中継続審査とすること、ならびに保健所整備強化の件ほか1件を閉会中継続調査とすることに決定。

商工労働委員会

○12月14日 午前11時13分、議会運営委員会室において開議、午後零時46分散会、委員長 井口 ゑみ(社会)

一般議事

- ① 委員長から、国内航空再建事業計画等に関し、休憩して協議会形式により、本社庵原常務取締役から説明を聴取したい旨をはかり、異議なくそのことに決定、直ちに休憩（休憩中、説明を聴取、本間委員(社会)から道内ローカル線の確保、整備基地等について質疑および意見の交換があつた。）、午前11時44分再開。
- ② 佐藤副委員長(自民)から、共同自家用電気施設の北電移管に関し、札幌通産局、北電等との折衝経過について報告、本間委員(社会)から、移管のための改修に対する措置に関し発言、委員長から応答があつて異議なくこれを了承。
- ③ 労働部長から、労組との団体交渉の経過について、

説明を聴取。

- ④ 労働部長、商政課長および企業局長から、第4回定例会に提案予定の案件について説明を聴取の後、
西島羽委員(社会)から、道立労働会館使用料条例案に関し、部分改正かどうか、
本間委員(社会)から、同条例案に関し、部屋の坪数について質疑、労働部長から答弁。
- ⑤ 伊藤(作)委員(自民)から、北農機株式会社倒産問題に関し、倒産に至つた経過、倒産後の道の措置の有無、整理等についての事情、計画倒産に関する判断、従業員に対する措置の有無および問題解決のための道の方策
について質疑、西島羽委員(社会)から、商工部長の出席等に関し発言、午後零時14分休憩、午後零時24分再開、休憩前の伊藤(作)委員(自民)の質疑について商工部長および労働部長から答弁。

○12月22日 午後2時45分、第5委員会室において開議、午後4時15分散会、委員長 井口 ゑみ(社会)

付託案件の審査

- ① 議案第15号（北海道立労働会館使用料条例の一部を改正する条例案）を議題とし、労働部長から説明を聴取の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第20号（北海道公営企業条例の一部を改正する条例案）を議題とし、企業局長から説明を聴取の後、
岡田委員(社会)から、計画中の工業用水および岩尾内の事業の実施時期、管理者の設置を42年5月31日まで留保した理由、議会の同意を要する賠償責任の免除額について、道有林野事業と公営企業との相違等について質疑および意見があり、企業局長から答弁、午後3時27分休憩、午後3時48分再開し、委員長から、本件について結論を保留したい旨をはかり、異議なくそのことに決定。
- ③ 議案第21号（北海道公営企業職員の給与の種類及び基準に関する条例案）を議題とし、企業局長から説明を聴取の後、
岡田委員(社会)から、組合の有無、団体交渉実施の有無と結果、期末手当と企業の経営状況との関連、一般職員との相違、将来の条例運用の危険性および能率給と経営状況について検討の必要性
について質疑および意見があり、企業局長から答弁、委員長から、本件についても更に内容を検討することとし、会期中に委員会を開くことをはかり、異議なくそのことに決定。

一般議事

消費経済課長から冬野菜の需給見通し、商工部次長から野沢石綿山部鉱山の閉山問題について説明を聴取

の後、

高田委員(社会)から、年末手当等についての話し合いの有無

について質疑、商工部次長から答弁。

○12月24日 午後2時40分、第5委員会室において開議、
午後3時20分散会、委員長 井口 ゑみ(社会)

付託案件の審査

① 議案第20号(北海道公営企業条例の一部を改正する条例案)を議題とし、副知事(那須)から説明を聴取の後、

岡田委員(社会)から、来年1月から5月までの管理者空白期間の業務遅滞と妥当性、賠償責任免除額の道有林野事業との相違と一律にする考えならびに条例作成の経過

等について質疑および意見があり、副知事(那須)、企業局長および文書課長から答弁があつて、異議なく原案のとおり可決することに決定。

② 議案第21号(北海道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例案)を議題とし、

岡田委員(社会)から、給与、身分について一般職員との均衡および不利益が出ないような決意

について質疑および意見があり、企業局長から答弁があつて、異議なく原案のとおり可決することに決定、ついで、岡田委員(社会)から、議案第21号について、「企業職員の給与については、今後とも企業努力に努め、道の一般職員の給与に比し、不利にならぬよう配慮すべきである。」との附帯意見を委員長報告に挿入されたい旨の動議を提出、賛成あつて動議成立、これをはかつて異議なくそのことに決定、委員長報告については、委員長に一任することとした。

請願、陳情の審査

陳 情

第915号 野沢石綿山部鉾山閉山撤回の件(採択)

第916号 野沢石綿山部鉾山閉山対策の件(採択)

残余の請願、陳情については、いずれも閉会中継続審査の取り扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

一 般 議 事

委員長から、所管事務調査については、いずれも閉会中継続調査の取り扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定、ついで、明年度の国費予算関係の中央折衝については中央情勢を勘案して実施することとし、委員派遣については委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。

農 務 委 員 会

○12月23日 午前11時51分、第4委員会室において開議、
午後1時散会、委員長 奥野 善造(自民)

付託案件の審査

議案第14号(北海道立農業技術講習所条例の一部を改正する条例案)を議題とし、農務部長から説明を聴取ののち、異議なく原案のとおり可決することに決定。

一 般 議 事

① 農業経済課長から、畑作実験共済事業関係資料について説明を聴取ののち、

美濃委員(社会)から、被害額からみた水稲共済制度と畑作実験共済の農家に対する効果比較表提出の可能性、

糸川委員(社会)から、中央農試で発表した農業地図に関し、発表した状況および真意、

天谷委員(自民)から、現在ある道の基本的農政の方針および地帯別営農類型を明年から変える意思の有無、新品種の育成、基礎的条件の整備についてどのように力をいれてやつていくか部長の所信、

嶋田副委員長(社会)から、米作北限地帯の米作地適当数町村の過去10年間の米の収穫量と金額、その地帯の畑作物の収量と金額の提示方

について質疑、意見および要求があり、農務部長、農業経済課長から答弁。

② 明年度国費予算中央折衝については、今後の中央情勢を把握しつつ実施することとし、委員の派遣等の取り扱いを正、副委員長、理事に一任することに決定。

③ 本委員会に付託の請願、陳情については、いずれも精査を要するものとし、閉会中継続審査の取り扱いとすることならびに農業構造改善対策の件ほか3件を閉会中継続調査とすることに決定。

建 設 委 員 会

○12月19日 午後5時55分、第3委員会室において開議、
午後6時散会、委員長 森 春一(自民)

一 般 議 事

委員長から、厚生委員会に付託された議案第23号(地方公営企業法の規定の適用の特例に関する条例案)の水道事業に関する部分について、理事者の説明を求め、建築部長から説明を聴取の後、異議なく原案のとおり了承することとし、その旨委員長から厚生委員長に伝えることに決定。

○12月23日 午後1時6分、第5委員会室において開議、
午後1時36分散会、委員長 森 春一(自民)

付託案件の審査

- ① 議案第24号(苫小牧港管理組合規約の一部改正に関する件)を議題とし、土木部長から説明を聴取の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第25号(北海道道の路線の認定及び廃止に関する件)を議題とし、土木部長から説明を聴取の後、
山田委員(社会)から、本年度の道道昇格路線の延長キロ数および明年度の昇格に対する見解について質疑および要望があり、土木部長から答弁があつて、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第28号(損害賠償の額の決定に関する件)を議題とし、土木部長から説明を聴取の後、
山田委員(社会)から、民間の場合と道の負担額との格差、
林(利)委員(自民)から、死亡者の年齢、
橋本委員(社会)から、車種ならびに冬季スパイダー取りつけの検討の有無について質疑、土木部長から答弁があつて、異議なく原案のとおり可決することに決定、委員長報告については、委員長に一任することとした。

請願、陳情の審査

請 願

第225号 神楽町街道西神楽14号道路の道道昇格の件 (採択)

残余の請願、陳情については、いずれも精査を要するので、今後において付託されるものも含め、閉会中継続審査の取り扱いとすることについては、異議なくそのことに決定。

一 般 議 事

- ① 委員長から、地方道整備促進の件ほか4件の事務調査について、閉会中継続調査の取り扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ② つぎに、明年度開発予算の中央折衝について、今後の中央情勢等諸般の事情を考慮して対処するため、委員派遣等の取り扱いについて委員長に一任されたい旨をはかり、異議なくそのことに決定。

農地開拓委員会

○12月23日 午前10時56分、議会運営委員会室において開議、午前11時40分散会、委員長 坂下 堯(社会)

一 般 議 事

- ① 委員長から、開拓営農振興対策に関する中央折衝の経過について報告、井野委員(社会)から補足説明があ

つて異議なくこれを了承。

- ② 土地改良事業推進に関する件ほか1件を閉会中継続調査とすることならびに付託の陳情を閉会中継続審査とすることに決定。
- ③ 農地開拓部長から、釧路支庁耕地課不祥事件に係る人事異動および42年度農地開拓関係国費予算要求の内容について説明を聴取、ついで予算中央折衝については、諸般の情勢等を勘案して実施することとし、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ④ 委員長から、宗谷支庁管内浜頓別ボンニタナイ開拓地における乳代の未支払、各種資金の繰り上げ償還、経営安定の指導に対する見解について質疑、意見および要望があり、開拓振興課長から答弁。

水 産 委 員 会

○12月14日 午後1時15分、第3委員会室において開議、
午後2時15分散会、委員長 樋口 哲男(自民)

一 般 議 事

- ① 砂原副委員長(社会)から、沿海州海域における安全操業確立に関する中央折衝の経過ならびに質促協議連正副会長会議におけるスケツ、コンブ輸入問題の経過について報告、ついで、委員長から、スケツ輸入問題に対し、自民党道選出国議員に実情を話し、要請した旨をのべた後、

砂原副委員長(社会)から、スケツ、コンブ輸入に関し、道側で提示した移出計画案の実現可能性、小樽の建て値直送についての道内の調整、道内全般で何らかの方法によりプールし、運搬船で運ぶ等の方法に対する見解、コンブ移入について北陸側は利尻、礼文産のものでなければだめか、運搬船による運搬方式の検討方

等について質疑および要望があり、水産部長から答弁。

- ② 砂原副委員長(社会)から、コンブ乾燥機を構造改善事業の補助対象事業としてのせれる見通し、道自体の行政措置として統一した試験の必要性、

麻里委員(自民)から、道東地区におけるコンブ乾燥機問題に関し、禁止区域拡大道案の示された過程においてコンブ乾燥機を道が補助して云々を条件として承諾したように伝えられ、2戸で1機を使用することを強く要望しているが、その事実、

沖野委員(自民)から、利尻産コンブの価格調整の必要性、タラバガニ、毛ガニの乱獲に伴う道の徹底した防止規制措置、ニシン沖刺しの権利買い取り業者の

増加傾向に対する厳重な許可方針等について質疑、意見および要望があり、水産部長から答弁。

○12月23日 午後1時35分、第3委員会室において開議、
午後2時15分散会、委員長 樋口 哲男(自民)

請願、陳情の審査

陳 情

第744号 沖合底曳網漁業禁止区域拡大に関する要望の件 (採択)

第823号 オホーツク沿岸地帯における水産試験機関の拡充の件 (採択)

第914号 釧路西港建設に伴う漁業問題早期解決の件 (採択)

残余の陳情については、今後付託予定の請願、陳情をも含め、継続審査の取り扱いとすることに決定。

一 般 議 事

① 沿岸漁家振興対策の件を閉会中継続調査とすることに決定。

② 水産部長から、42年度水産関係国費予算の要求内容について説明を聴取、ついで委員長から、予算中央折衝については、政府の編成時期をも見合せ、必要に応じ行なうこととはかり、異議なく派遣時期、派遣委員等については委員長に一任することとした。

③ 沖野委員(自民)から、漁港新規指定 要望 結果の内容、

武藤委員(社会)から、釧路西港の問題について漁民側の立場を守つてやつてほしい

等について質疑および要望があり、水産課長から答弁。

文教林務委員会

○12月23日 午前11時48分、第3委員会室において開議、
午後零時18分休憩、その後再開に至らず、委員長 大石 利雄(社会)

付託案件の審査

① 議案第16号(北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案)および議案第17号(北海道立図書館条例の一部を改正する条例案)を議題とし、教育長からそれぞれ説明を聴取の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

② 議案第22号(北海道有林野条例の一部を改正する条例案)を議題とし、林務部長および道有林第一課長から説明を聴取の後、

湯田委員(社会)から、経営の基本条項の取り扱い、

亀井委員(社会)から、市町村交付金の具体的配分、分収歩合の実績、議決を要する損害賠償額の一般職員、電気事業との関連、第16条に基づく規則の制定日途

等について質疑および意見があり、林務部長および道有林第一課長から答弁があつて、異議なく原案のとおり可決することに決定。

③ 議案第27号(損害賠償の額の決定に関する件)を議題とし、林務部長から説明を聴取の後、

湯田委員(社会)から、運転手の責任および温情ある処分方

について質疑および要望があり、林務部長から答弁があつて、異議なく原案のとおり可決することに決定、委員長報告については委員長に一任することとした。

一 般 議 事

① 委員長から、高等学校教育の整備拡充推進の件ほか2件について、閉会中継続調査の取り扱いとすること、ならびに残余の請願、陳情については、今後付託される分を含め、閉会中継続審査の取り扱いとすることについてはかり、異議なくそのことに決定。

② ついで、国費予算に関する中央折衝について、中央情勢を勘案して実施することをはかり、異議なくそのことに決定、時期、派遣委員については、正副委員長に一任することとした。午後零時18分休憩(休憩中、理事会において、残余の案件については、第4回定例会最終日に委員会を開き、質疑を行なうことに決定。)、その後再開に至らず。

○12月26日 午前11時52分、第1委員会室において開議、
午後8時4分散会、委員長 大石 利雄(社会)

一 般 議 事

① 学校教育課長から、公立高校入学志願者予備調査の結果について説明を聴取、ついで、財務課長から、公立高校再編成計画に関する説明を聴取の後、

渡辺(浩)委員(社会)から、教育長の基本的考え方が守られたか、基準どおり行なわれたか、予備調査の重点と価値判断、特殊な状態の学校に対する措置、応急間口減に対する中卒者減少の適確な把握とその根拠、資料内容について地元の理解と納得の有無、収容率の目標に達しないものの考え、16間口減に決定した時期と内容、基本方針実施についての具体的な基準等について質疑および意見があり、教育長および財務課長から答弁、議事進行の都合により午後零時46分休憩、午後3時13分再開し、休憩前の質疑に対し、教育長および財務課長から答弁後、

渡辺(浩)委員(社会)から、地元の理解と協力がないときの措置、平均収容率を下回つた地域の対策、収容

率と間口減の関連についての資料の提出方、適正配置の歴史的過程と地元における音質に対する責任、地元代表者の意見の聴取方、

亀井委員(社会)から、教育長の答弁と実施についての態度

について質疑および意見があり、教育長および財務課長から答弁、委員長から応答があつて、議事進行の都合により午後4時35分休憩、午後7時4分再開、引き続き、

渡辺(浩)委員(社会)から、資料と現実との違い、教育庁責任者と現地代表者間における事実の解明、11月7日の決定通達変更の可能性

等について質疑および意見があり、教育長および財務課長から答弁、ついで、本件の取り扱いについて、渡辺(浩)委員(社会)、林(謙)委員(自民)および湯田委員(社会)から発言および意見の交換があり、委員長から応答、議事進行の都合により午後7時28分休憩、午後7時41分再開、

渡辺(浩)委員(社会)から、教育長の教育行政執行に対する意思の表明、

林(謙)委員(自民)から、再編成計画に関する教育長の態度、適切な時期の告示に対する見解

について質疑および意見があり、教育長から答弁(質疑応答中、社会党所属委員および委員長は漸次退場、高橋(辰)副委員長(自民)が委員長席につき議事を継続)。

- ② ついで、副委員長から、苫小牧西高校PTA予算に関する件の議事進行についてはかり、林(謙)委員(自民)から発言、副委員長から、正、副委員長において協議したい旨を述べ、午後7時57分休憩、午後8時2分再開、本件の取り扱いについては理事会において協議することとし直ちに散会。

特別委員会

総合開発調査特別委員会

○12月14日 午後1時44分、第1委員会室において開議、午後1時46分散会、委員長 川口 常一(自民)

- ① 委員長から、去る11月29日開催された北海道開発審議会にオブザーバーとして出席した経過概要を報告、異議なくこれを了承。
- ② 委員長から、昭和42年度開発予算の編成については、明確なスケジュール等が明らかでないので、今後中央の情勢を把握し、委員の派遣等を行ないたい旨はかり、異議なくその取り扱いについては正副委員長および理事に一任することを決定。
- ③ 委員長から、本委員会の調査経費について、既定の額では不足を生ずるので、第4回定例会において増額するための決議案を提出することををはかり、異議なくそのことに決定。

○12月24日 午後零時21分、議会運営委員会室において開議、午後零時23分散会、委員長 川口 常一(自民)

当委員会付託の陳情3件については、いずれも精査を要するものとし、閉会中継続審査の取り扱いとすることに決定。

石炭対策特別委員会

○12月23日 午後3時37分、第5委員会室において開議、午後3時45分散会、委員長 原田 伊曾八(自民)

- ① 商工部長から、中小炭鉱に対する年末融資の状況について説明を聴取。
- ② 委員長から、石炭関係国費予算折衝のため委員を派遣することとし、期日、派遣委員等については委員長に一任されたい旨をはかり、渡辺(浩)委員(社会)から発言、委員長から応答があつて、異議なくそのことに決定、ついで、付託の請願、陳情については、いずれも閉会中継続審査の取り扱いとすることををはかり、異議なくそのことに決定。

道庁舎建設調査特別委員会

○12月17日 午後1時15分、第1委員会室において開議、
午後1時45分散会、委員長 吉田 定次郎
(自民)

- ① 諏訪田委員(社会)から、各府県の庁舎建設状況等の調査経過について報告があり、異議なくこれを了承。
- ② 建設課長から、庁舎の外装および壁画の経過について説明を聴取のち、
河野副委員長(社会)から、外壁の色彩採用の内容について質疑、建設課長から答弁。

災害対策特別委員会

○12月24日 午後零時26分、第5委員会室において開議、
午後1時5分散会、委員長 西島 順三(自民)

請願、陳情の審査

陳 情

- 第844号 8月集中豪雨による災害復旧対策実施の件 (採択)
- 第845号 8月集中豪雨による災害復旧対策実施の件 (採択)
- 第846号 8月集中豪雨による災害対策の件 (採択)
- 第847号 8月集中豪雨による災害復旧対策実施の件 (採択)
- 第849号 幌向川上流部災害緊急対策工事实施の件 (採択)
- 第850号 旧幾春別川下流部築堤工事促進の件 (採択)

残余の請願、陳情については、いずれも精査を要するので、閉会中継続審査の取り扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

その他の議事

- ① 農務部長から、冷害対策のその後の経過について説明を聴取。
- ② 委員長から、本委員会の調査経費について、既定額に不足を生ずるので、100万円の増額決議案を提出したい旨をはかり、異議なくそのことに決定。
- ③ 大石委員(社会)から、災害、冷害関係実績報告書を次回委員会に提出方要求があつた。

予算特別委員会

○12月19日 午後6時1分、第1委員会室において開議、
午後6時15分散会、委員長 山下 策雄(社会)

正副委員長の互選

- ① 岩田臨時委員長(自民)から、委員長互選の方法についてははかり、佐々木(豊)委員(自民)の動議により指名推せんの方法により、山下委員(社会)を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてははかり、本間委員(社会)の動議により指名推せんの方法により、宮本委員(自民)を副委員長に選出。
- ③ 委員長から、付託案件の審査日程等について休憩して協議する旨をのべ、午後6時6分休憩、午後6時14分再開、休憩中協議のとおり、審査日程は配付の日程表のとおりとすること、質疑の方法については通告の形式によることとし、一括これを行なうこと、および発言の順位は本会議の一般質問の例によることについてははかり、異議なくそのことに決定。
- ④ ついで、本委員会の運営のため、自民、社会両党から各2名の理事を選任することとし、自民党から佐々木(豊)委員および黒松委員、社会党から本間委員および熊谷委員を選任。

○12月20日 午前10時35分、第1委員会室において開議、
午後5時25分散会、委員長 山下 策雄(社会)

- ① 委員長から、議席について現在着席のとおりとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 企画部、民生部および衛生部所管に対する質疑に入り、

武藤委員(社会)から、釧路西港開発に関し、漁港開発に対する道の構えおよび具体的な推進方策、釧路西港は第2期総合開発計画に含まれているか、道の取りくみ方およびネットは何か、地元協議会に道が参加する意思の有無および参加できない理由、漁業転換等に対し前向きで処理する意思の有無、札幌段階において、開発局、道、市3者の連絡会議をもつ意思の有無、ならびに早急な措置の実行方について、

石坂委員(社会)から、(1)国民健康保険に関し、歳入について39年度と40年度との増額差に対する見解、道民の負担増に対する所見、および部の指導方針、国保大会の要望事項についての対処策、(2)保健所技術職員の充足に関し、欠員状態が38年当時と変わらないことについての見解、保健行政推進に対する熱意の有無、現在での処理状況と結果の内容、ならびに実効あるよう

努力方等について

質疑、意見および要求があり、企画部長、民生部長および衛生部長から答弁、企画部関係説明員退席のため午前11時48分休憩、午前11時49分再開、

青木委員(社会)から、(1)旭川結核療養所の廃止に関し、廃止のため患者に対しアンケートをとった責任の所在、強制転医の事実の有無、(2)道立病院、療養所等の整備、統廃合に関し、基本的な考え方、具体的な計画の明示、廃止後の財産処分との関連および無償譲渡の考え、600万円の起債返還の理由および幌西療養所の改修計画等について

質疑、意見および要望があり、衛生部長から答弁があつて、企画部、民生部および衛生部所管に対する質疑を終結、午後零時18分休憩、午後1時34分再開。

③ 農務部および農地開拓部所管に対する質疑に入り、

村本委員(社会)から、道営競馬の不正事件に関し、不正の原因追求と対策についての具体的な考え方、馬主の規制措置の必要性、監視体制の強化策、道営競馬の目的、存廃を検討する必要性等について、(関連して、堀委員(社会)から、道営競馬に関し、協力会と道との関連、協力会の構成、監査委員の報告、口頭注意に対する具体的な改善状況、道営競馬の目的と馬産振興のための財政的施策の明示、事件の見通し、予算編成時に当たり存廃を検討する必要性についての所見等について)

青木委員(社会)から、(1)冷害対策に関し、今後の冷害対策の体制確立に対する部長の心構えおよび見解、第2回臨時会において財政調整基金繰入金を減額した考え方および財源掘り替えの是非、(2)41年度予算執行に関し、農村青少年海外派遣補助について、デンマーク会、国際農友会等の海外派遣助成との関連、補助申請の主体、ホクレンに助成することの妥当性等適正化法との関連、壮行会に部次長が出席したことの所見、交際費を追加計上した見解および今後の処理方針等について、

高田委員(社会)から、北農機株式会社倒産問題に関し、ホクレンの責任内容、北農機取締役が不渡り手形の事実を事前に知っていたかどうか、倒産前に役員会開催の有無、出席者等の資料の提出方、従来、商品は単協に直接送っていたものをホクレンが引き上げた理由および見解、引き取り価格に対する見解と北農機取締役としての責任、他の債権者とホクレンとの関連、11月12日現在の北農機倒産の資産内容についての資料の提出方等について

質疑、意見、要望および要求があり、農務部長から答弁があつて、農務部および農地開拓部所管に対する質疑を終結、午後4時39分休憩、午後4時42分再開。

④ 水産部所管に対する質疑に入り、

諏訪田委員(社会)から、石狩川沿岸漁家対策に関し、堤防敷地内に漁具倉庫等構築物の設置を国に要請する考えおよび強い要請、漁業転換計画について、

熊谷委員(社会)から、海難防止対策に関し、20トン未満漁船に対する行政指導の具体的な計画、漁船、救命器材、連絡施設、漁撈の近代化、研究機関の強化等の総合的な方針と将来の具体的な計画、積極的な対策の必要性和その心構え等について

質疑、意見および要求があり、水産部長から答弁があつて、水産部所管に対する質疑を終結。

○12月21日 午前10時45分、第1委員会室において開議、午後5時11分散会、委員長 山下 策雄(社会)

① 労働部および商工部所管に対する質疑に入り、

諏訪田委員(社会)から、若年労働者対策に関し、道外移動の現状、就職後1年以内離職者の道の状況と対策、職業紹介所の実態、定着指導の具体的方策、就職前の職場見学推進、労働条件、バー、キャバレー等年少労働の禁止等に対する指導監督の現状および十分な監督方等について、

武藤委員(社会)から、(1)野沢石綿鉱山の廃止に関し、妥結した内容および鉱区調整等当局と連携して指導方、(2)北農機株式会社従業員解雇に関し、本会議答弁後、ホクレン等と話し合つた内容および見通しならびに現在の道の方針、退職時の条件、完全再就職等に対する道の考えおよび決意、農協法に基づく監督指導権の範囲、一方的解雇通告をしないよう要請方および12月23日までにその結果の報告方等について、(関連して、本間委員(社会)から、11月および12月分未払い賃金の支給の見通しおよび責任ある折衝方について)

高田委員(社会)から、北農機株式会社の倒産問題に関し、倒産前後の経緯についての調査内容、不渡り手形を事前に知っていたかどうか、ホクレンの商品引き取り価格および詐害行為との関連に対する見解、北農機倒産取締役の商法上の義務違反、株主総会の経過と内容についての調査の有無、会社更生法の適用指導をする考えおよび前向きな指導方、現状の資産内容に対する見解、土地価格、下請け会社への手形発行総額、12月中におけ不渡り手形の枚数、金額および対象企業者数、42年1月から3月までの分、ならびに4月以降の分についての資料の提出方、連鎖倒産した会社および倒産のおそれある会社数および融資あつた経緯および万全の措置方、企業転換についての方針、債権確保に対する将来にわたる監督方等について

質疑、意見、要望および要求があり、副知事(那須)、商工部長および労働部長から答弁があつて、労働部および商工部所管に対する質疑を終結、午後1時42分休

憩、午後2時55分再開。

② 林務部、土木部および建築部所管に対する質疑に入り、

佐藤委員(自民)から、木材業の振興策に関し、外材増大傾向に対処する港湾整備計画の現況と見通し、製材工場の統合状況とその見通し、山元工場の振興策、防寒住宅促進法案に対する姿勢と前向きの検討方等について

質疑、意見および要望があり、林務部長から答弁、林務部関係説明員退席のため午後3時25分休憩、午後3時26分再開、

本間委員(社会)から、(1)冬季除雪対策に関し、除雪対策の具体的内容、完全除、排雪に対する心構えおよび実施できない理由、(2)公営住宅の管理に関し、道営住宅に長期空き家の多い理由、合理的な入居決定方法についての考え、空き家になったときの補修についての考え方、公営住宅の基準単価の是正および市町村の超過負担解消の見通しおよび総合的な配慮方等について、(関連して、砂原委員(社会)から、公営住宅の管理、補修体制の現状、市に管理委託しているものに対する具体的な改善策について)

石坂委員(社会)から、(1)道路行政に関し、車道舗装とあわせて歩道を整備する考えの有無および将来の計画ならびに市内、区間を問わずこの原則の樹立方、道路工手の適正配置に対する考え方と方針、車、歩道のみでなく街路樹に対する考え方および一体として考慮方ならびに育成管理する人と施設に対する方針、道路、土木機械の管理について、格納庫、修理ないし手入れ場所等施設整備に対する考え方、(2)河川管理体制に関し、違法行為取り締まりに対する今後の方針および土木現業所の強化策、水利使用に農業用水を含めた一元化の検討の有無および今後の方向、土木現業所出張所の権限の明確化、河川台帳の整備計画および完了時期、河川区域の指定について、河川敷地、堤防敷地を一体化する考えおよびこの準備対策ならびに行政管理庁の指摘事項に対する改善策等について

質疑、意見および要望があり、土木部長および建築部長から答弁があつて、林務部、土木部および建築部所管に対する質疑を終結。

○12月22日 午前10時21分、第1委員会室において開議、
午後5時59分散会、委員長 山下 策雄(社会)

① 公安委員会所管に対する質疑に入り、

諏訪田委員(社会)から、交通事故防止対策に関し、指導取り締まり体制の現況と強化対策についての見解、警察官の冬季装備に対する配慮、交通交番の現況と将来の増減策、主要道路、事故多発地帯に常駐すること

の配慮および改修の場合当該地帯へ移設する考え、歩行者の指導体制の現状と将来の計画、事故撲滅一大道民運動を起こす考えの有無および十分な決意等について、

堀委員(社会)から、道営競馬の不祥事件に関し、事件捜査の経緯および実態ならびに今後の見通し、馬主の不正行為の仕組み、根源究明に対する今後の努力方、道費補助により、馬主となる事実、他の八百長レースの事実等の確認の有無等について

質疑、意見および要望があり、道警察本部長および刑事部長から答弁があつて、公安委員会所管に対する質疑を終結、午前11時25分休憩、午前11時28分再開。

② 教育委員会所管に対する質疑に入り、

諏訪田委員(社会)から、(1)中学校における就業指導に関し、年少労働者の1年以内離職、転職が多いがこの対策、職業指導主事が完全でない理由および早急な整備方、適性調査の方法、器材等に対する見解および予算措置方、就職前の職場見学に対する所見および方針、定着指導についての事後措置についての考え方、(2)学童の交通事故防止に関し、対策の現況、交通法規等の指導計画、パンフレットの配布等についての考え、PTA等に対する啓発、将来の通学路、待避所等についての見解等について、

石坂委員(社会)から、高校再編成問題に関し、高校全入と再編成計画との関連、高校の目的、学習可能な判断の根拠、能力のない者に対する措置、全入の実現方、再編成計画の年次割りの明示方および達成目標との関連、大学区制に伴う応急間口削減の再検討についての見解、再編成計画に伴う私学に対する考え方および折衝の内容、42年度再編成にあたり40間口を16間口とした経過および理由、現地の了承判断の根拠および見解、強行しない原則の確立方法等について、(関連して、渡辺(浩)委員(社会)から、再編成計画に関し、地元の反対が明らかな場合の方策、計画を押し進めなければならない理由、十分精査し、正しい方向づけをする必要性等について)

質疑、意見および要望があり、教育委員長、教育長および財務課長から答弁、午後1時56分休憩、午後2時53分再開、委員長から、12月20日要求のあつた「北農機株式会社への貸付対照表および取締役会について」の資料が配付のとおり提出あつた旨を報告の後、

青木委員(社会)から、(1)修学旅行実施基準の改定に関し、生徒1人の限度額決定に際し検討の内容、車中泊との関連、一般行楽時期を避ける考え、父兄負担軽減と予算措置、(2)補正予算案に関し、道立図書館の移転後の財産の管理および運用についての所見、大雪山国立公園特別保護地区の設定についての現状と告示等の見通し、財産取得について、小学校の建設計画、統

廃合計画の有無等について、

村本委員(社会)から、職員の不祥事件に関し、本会議答弁後における検討の内容および事実関係、公用車使用に対する見解、教育行政の執行に対する所信、綱紀肅正に対する強い認識方等について

質疑、意見および要望があり、教育委員長、教育長、社会教育課長および財務課長から答弁があつて、教育委員会所管に対する質疑を終結、午後4時37分休憩、午後4時45分再開。

③ 総務部所管に対する質疑に入り、

林(謙)委員(自民)から、統一地方選挙の取り締りに関し、啓発等積極的指導体制、立候補予定者の申し合せ、町内会組織に対する啓発等公明化を全道的に行なう意思等について、

井野委員(社会)から、職員の綱紀肅正に関し、高級職員の単身赴任について、人事異動の際の考慮の有無、道議立候補のため退職した支庁長と現職支庁長の欲送迎会に対する所見、資料要求に対する道の姿勢、知事、副知事の旅行日程等および各部課長以上の超勤手当支給状況の資料の提出方、(2)北海道日本大学高等学校の認可に関連して、北海道日大高校として認可した理由および経緯、高校野球連盟および道内高校職員録に日本大学高等学校としていることの所見、日大に優先入学できる根拠と確信の有無、理事の構成および寄附行為と関係のない者が入っている理由、白老町財政と附属高校への助成との関連および指導の内容等について

質疑、意見および要求があり、要求資料の確認のため午後5時44分休憩、午後5時47分再開、総務部長から資料提出について答弁、井野委員(社会)から発言、ついで本件の取り扱いについて協議のため午後5時48分休憩、午後5時58分再開後、本日の議事はこの程度にとどめ、直ちに散会。

○12月23日 午後零時23分、第1委員会室において開議、午後4時30分散会、委員長 山下 策雄(社会)

① 委員長から、12月21日および22日要求のあつた「北農機株式会社の支払手形内訳」および「各部課長時間外手当支給状況調」の資料が配付のとおり提出があつた旨を報告。

② 総務部所管に対する質疑を続行、

前日の井野委員(社会)の質疑に対し、総務部長から答弁の後、

井野委員(社会)から、(1)日大附属高校問題に関し、町財政から助成した経過、町行政水準の低下、道政と町政の補完関係、工鉦業開発促進条例適用の趣旨、私学への助成に対する指導の見解、学校要覧の内容の適

否、理事の資格要件、優先入学、校名等誤解を生じないよう指導する考え、(2)綱紀肅正に関し、単身赴任についての見解、赴任旅費および私邸の電話料金についての資料の提出方、某支庁長退任の理由および欲送迎会規制に対する考え方、超過勤務手当の配分および支給の不均衡に対する見解、行政機構の再配分の必要性、知事交際費の再検討を行なう考え、特別職の報酬について審議会に出した資料の提出方等について、(関連して、湯田委員(社会)から、超勤手当について、各部課間の不均衡、対象となる時間区分、完全支給の有無等について)

質疑、意見および資料の要求があり、総務部長から答弁、議事進行の都合により午後3時18分休憩、午後4時15分再開、副知事(那須)から、北農機株式会社に関するその後の折衝結果について報告の後、

竹内委員(社会)から、神恵内村における諸問題に関し、議長交際費、地方交付税の不当配分、漁業会のあり方等村行政停滞に対する積極的調査、行政指導等の推進に対する見解および調査結果の報告方について質疑および要望があり、総務部長から答弁。

○12月24日 午後1時41分、第1委員会室において開議、午後11時34分散会、委員長 山下 策雄(社会)

① 委員長から、12月23日および24日要求のあつた「総務部総務課職員の時間外勤務手当支給状況調」および「総務部長の出張調」の資料が配付のとおり提出があつた旨を報告、ついで、知事および副知事の旅行日程に関する資料要求について、昨日の理事会における協議経過を報告の後、本件に関し、井野委員(社会)から発言、総務部長から答弁、委員長から応答、ついで奈良委員(自民)から資料要求について反対の意思表明があり、このとき、新川委員(社会)から議事進行の発言があつて、委員長および総務部長から発言、ついで、井野委員(社会)から、部長発言に関し速記録調査のため休憩されたい旨の要求があり、午後2時14分休憩、午後5時40分再開、再び、井野委員(社会)、村本委員(社会)および高田委員(社会)ならびに総務部長から発言および意見の交換等があり、委員長から応答、ついで本件の取り扱いに関し休憩して協議したい旨を述べ、午後6時27分休憩、午後7時32分再開し、委員長から理事会における協議の結果について報告。

② ついで、総務部所管に対する質疑を続行、

青木委員(社会)から、財政問題に関し、41年度財政収支見通しのための税目別伸び率の資料が提出されない理由、個人、法人別事業税、滞納繰越金、自動車税等の伸長率、財政収支単年度黒字となる要因、土地買収について、公宅、公営住宅、学校等全体計画との関

連、坪当たり単価、面積、財産取得および予算編成方法の妥当性、所管予算に計上する考え、財政調整基金について、本質的な見解、救農事業の起債に伴う財源振り替えに対する考え方等について

質疑、意見および要望があり、総務部長から答弁、議事進行の都合により午後8時34分休憩、午後11時33分再開し、直ちに散会。

○12月26日 午前11時18分、第1委員会室において開議、
午後7時51分散会、委員長 山下 策雄(社会)

① 総務部所管に対する質疑を続行、

亀井委員(社会)から、(1)臨時職員の給与に関し、一般公務員のベースアップに関連し、来年度当初から引き上げ適用に対する考え方、(2)公営企業における職員の賠償責任免除額に関し、電気および工業用水事業100万円、道有林野事業50万円として提案した理由および審議の経過、格差をつけることの妥当性、(3)許認可事務の執行に関し、許認可効力の発生時点、いなせ農園についての許可前着工に対する措置、国の公園監視員と道との関連、自然公園法に基づく知事の責任範囲、中富良野町に対する勧告の状況と限度、弟子屈町の農林中金融資担保の妥当性および勧告の意思等について

質疑、意見および要望があり、総務部長から答弁、議事進行の都合により午後零時51分休憩、午後4時4分再開、

佐野委員(社会)から、朝鮮人学校の認可に関し、札幌市白石の施設について、就学人数、勉学状況等の調査の有無およびその必要性、友好親善との関連についての見解、他府県における認可状況および認可した理由、道が認可しない理由、次官通達後他府県において認可した数およびその妥当性ならびに国の考え方等について

質疑および意見があり、総務部長から答弁、本会議開会のため午後4時49分休憩、午後4時57分再開、

佐野委員(社会)から、他府県において人道的立場から認可されたと判断することの可否、解決のため前向き姿勢で検討方等について

質疑、意見および要望があり、総務部長から答弁があつて、総務部所管に対する質疑を終結、午後5時8分休憩、午後5時48分再開。

② 知事に対する総括質疑に入り、

井野委員(社会)から、(1)職員の綱紀肅正に関し、扶養手当支給の原則、単身赴任となる人事の妥当性、選挙時に当たり地位利用と紛わしい行動の規制に対する見解、超勤手当について各部課間の不均衡および事務配分の妥当性についての見解、知事、副知事の旅行日

程の資料要求に対する見解等について、

高田委員(社会)から、(1)北農機株式会社倒産問題に関し、売却した作業機の補修、部品等農民の不安解消の方策、再建について道の前向きな指導態勢、再就職のあつせん、中高年齢層の雇用対策の明示および積極的な配慮方、関連下請け企業の債権確保の方策、連鎖倒産の防止の見通し等について

質疑、意見および要望があり、知事から答弁があつて、知事に対する総括質疑を終結。

③ 委員長から、付託案件に対する意見調整を各派代表者会議で行なうことをはかり、異議なくそのことに決定、午後7時13分休憩、午後7時46分再開。

④ 委員長から、付託案件に対する各派代表者会議における意見調整の結果について報告の後、議案第1号ないし第9号および議案第32号ないし第40号をいずれも原案のとおり可決することをはかり、異議なくそのことに決定、ついで、本間委員(社会)から、議案第1号について、つぎの意見を委員長報告に挿入されたい旨の動議が提出され、賛成あつて動議成立、これをはかつて異議なくそのことに決定、委員長報告については委員長に一任することとした。

⑤ 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあつた。

意 見

- 1 道立医療機関の長期整備計画を樹立すべきである。
- 2 いなせ事業団の事例にかんがみ、許認可行政の執行については、とくに慎重を期すべきである。

会 合

資 料

全国都道府県議会議長会

○12月2日 全共連ビルにおいて地方行政委員会を開開、
会長あいさつののち、正、副委員長の選任に入り、委員
長に岩手県、副委員長に栃木、香川、岡山各県議長を選
任、ついで今後の運営等について協議した。

第31回衆議院議員総選挙 結果(速報)

第31回(戦後10回目)衆議院議員総選挙は、昭和42年1
月8日告示され、選挙戦に入った。

本道では、定数22人に対し、37人が立候補し、新しい議
席をめぐる激しい争いが終盤まで続けられ、1月29日、
一斉に投票、この結果、道内における新勢力分野は、自民
党10人、社会党10人、民社党1人、公明党1人となった。

道内における党派別当選者数および市町村別候補者得票
数等をつぎに掲げる。

道内の党派別当選者数

区分		当選 者数	前	元	新	解散時 の議席	候補 者数
党派別	自 民	10	9	—	1	11	12
	社 会	10	6	3	1	9	13
	民 社	1	1	—	—	1	1
	公 明	1	—	—	1	0	1
	共 産	—	—	—	—	0	5
	無 所 属	—	—	—	—	0	5
	計	22	16	3	3	21 (欠員 1)	37

衆議院議員選挙の選挙区別投票結果調

(昭和42年1月29日執行)

項目 市・ 支庁別	選挙当日の有権者数		投票者数		棄権者数		投票率(%)		前回 投票率			
	男	女	計	男	女	計	男	女				
第 1 区												
札幌市	258,136	261,499	519,635	186,631	186,674	373,305	71,505	74,825	146,330	71.39	71.84	61.66
小樽市	57,776	66,965	124,741	46,878	50,686	97,564	10,898	16,279	27,177	81.14	75.69	65.56
江別市	13,271	13,575	26,846	10,758	10,639	21,397	2,513	2,936	5,449	81.06	78.37	66.09
千歳市	17,244	13,300	30,544	14,763	10,577	25,340	2,481	2,723	5,204	85.61	79.53	67.05
石狩支庁	34,982	33,343	68,325	27,620	24,865	52,485	7,362	8,478	15,840	78.95	74.57	69.64
後志支庁	47,188	52,290	99,478	39,018	41,329	80,347	8,170	10,961	19,131	82.69	79.04	73.31
小 計	428,597	440,972	869,569	325,668	324,770	650,438	102,929	116,202	219,131	75.98	73.65	64.96
第 2 区												
旭川市	69,690	75,407	145,097	52,982	52,895	105,877	16,708	22,512	39,220	76.03	70.15	75.70
留萌市	10,619	11,401	22,020	7,957	7,711	15,668	2,662	3,690	6,352	74.93	67.63	72.39
稚内市	14,947	15,624	30,571	9,938	9,574	19,512	5,009	6,050	11,059	66.49	61.28	67.45
士別市	10,463	11,347	21,810	7,192	6,795	13,987	3,271	4,552	7,823	68.74	59.88	72.06
名寄市	10,817	11,341	22,158	7,945	7,513	15,458	2,872	3,828	6,700	73.45	66.25	76.16
富良野市	9,194	10,184	19,378	7,283	7,555	14,838	1,911	2,629	4,540	79.21	74.18	—
上川支庁	62,748	66,235	128,983	50,458	51,054	101,512	12,290	15,181	27,471	80.41	77.08	79.41
留萌支庁	24,854	26,403	51,257	19,718	20,578	40,296	5,136	5,825	10,961	79.34	77.94	79.57
宗谷支庁	19,071	19,663	38,734	14,405	14,536	28,941	4,666	5,127	9,793	75.53	73.93	76.70
小 計	232,403	247,605	480,008	177,878	178,211	356,089	54,525	69,394	123,919	76.54	71.97	76.51
第 3 区												
函館市	73,347	87,137	160,484	51,698	54,168	105,866	21,649	32,969	54,618	70.48	62.16	64.62
渡島支庁	65,377	70,304	135,681	48,471	48,305	96,776	16,906	21,999	38,905	74.14	68.71	67.41
松山支庁	25,858	27,481	53,339	20,167	19,911	40,078	5,691	7,570	13,261	77.99	72.45	66.25
小 計	164,582	184,922	349,504	120,336	122,384	242,720	44,246	62,538	106,784	73.12	66.18	65.99

第 4 区

室蘭市	48,531	49,277	97,808	37,316	35,343	72,659	11,215	13,934	25,149	76.89	71.72	74.29	67.20
夕張市	23,774	25,042	48,816	18,855	18,104	36,959	4,919	6,938	11,857	79.31	72.29	75.71	65.61
岩見沢市	19,165	20,728	39,893	14,502	14,168	28,670	4,663	6,560	11,223	75.67	68.35	71.87	74.08
苫小牧市	23,966	25,051	49,017	19,024	18,707	37,731	4,942	6,344	11,286	79.38	74.68	76.98	74.58
美唄市	17,104	19,090	36,194	13,789	14,031	27,820	3,315	5,059	8,374	80.62	73.50	76.86	62.35
芦別市	14,308	15,362	29,670	11,388	11,426	22,814	2,920	3,936	6,856	79.59	74.38	76.89	69.65
赤平市	13,163	13,939	27,102	10,349	9,849	20,198	2,814	4,090	6,904	78.62	70.66	74.53	65.59
三笠市	13,474	14,860	28,334	10,477	10,562	21,039	2,997	4,298	7,295	77.76	71.08	74.25	67.06
滝川市	11,497	11,649	23,146	9,112	8,574	17,686	2,385	3,075	5,460	79.26	73.60	76.41	69.82
砂川市	8,243	9,065	17,308	6,941	7,051	13,992	1,302	2,014	3,316	84.20	77.78	80.84	76.25
歌志内市	8,064	8,353	16,417	6,248	6,005	12,253	1,816	2,348	4,164	77.48	71.89	74.64	53.62
深川市	9,907	11,203	21,110	8,106	8,327	16,433	1,801	2,876	4,677	81.82	74.33	77.84	71.52
空知支庁	57,221	62,784	120,005	48,665	49,831	98,496	8,556	12,953	21,509	85.05	79.37	82.08	74.83
胆振支庁	44,554	47,193	91,747	36,684	36,264	72,948	7,870	10,929	18,799	82.34	76.84	79.51	72.69
日高支庁	32,098	33,136	65,234	25,719	25,289	51,008	6,379	7,847	14,226	80.13	76.32	78.19	71.07
小 計	345,069	366,732	711,801	277,175	273,531	550,706	67,894	93,201	161,095	80.32	74.59	77.37	70.00

第 5 区

釧路市	50,135	52,249	102,384	38,220	36,811	75,031	11,915	15,438	27,353	76.23	70.45	73.28	66.55
帯広市	34,690	35,658	70,348	28,487	27,403	55,890	6,203	8,255	14,458	82.12	76.85	79.45	75.22
北見市	22,542	23,912	46,454	17,357	16,812	34,169	5,185	7,100	12,285	77.00	70.31	73.55	69.99
網走市	11,876	12,985	24,861	9,243	8,943	18,186	2,633	4,042	6,675	77.83	68.87	73.15	72.15
紋別市	11,044	11,894	22,938	8,024	7,941	15,965	3,020	3,953	6,973	72.65	66.76	69.60	67.33
根室市	12,418	13,445	25,863	8,672	8,014	16,686	3,746	5,431	9,177	69.83	59.61	64.52	59.13
網走支庁	69,729	73,742	143,471	57,161	55,692	112,853	12,568	18,050	30,618	81.98	75.52	78.66	73.37
十勝支庁	62,911	66,518	129,429	55,355	55,246	110,601	7,556	11,272	18,828	87.99	83.05	85.45	84.40
釧路支庁	32,154	32,396	64,550	24,954	23,699	48,653	7,200	8,697	15,897	77.61	73.15	75.37	72.56
根室支庁	14,108	14,008	28,116	11,136	9,725	20,861	2,972	4,283	7,255	78.93	69.42	74.20	67.93
小 計	321,607	336,807	658,414	258,609	250,286	508,895	62,998	86,521	149,519	80.41	74.31	77.29	73.50
合 計	1,492,258	1,577,038	3,069,296	1,159,666	1,149,182	2,308,848	332,592	427,856	760,448	77.71	72.87	75.22	70.10

内 訳

市 部	899,405	951,542	1,850,947	680,135	672,858	1,352,993	219,270	278,684	497,954	75.62	70.71	73.10	66.94
郡 部	592,853	625,496	1,218,349	479,531	476,324	955,855	113,322	149,172	262,494	80.89	76.15	78.45	74.27

第 1 区 (定員 5 人)

(太字が当選者)

届出番号		氏 名										有効投票	無効投票	合 計
市町村名	1 前谷 宏 (無所属新)	2 地崎 宇三郎 (自民前)	3 横路節雄 (社会前)	4 荒井英二 (共産新)	5 島本虎三 (社会元)	6 寿原正一 (自民前)	7 斎藤 実 (公明新)	8 箕輪 登 (自民新)	9 泊谷裕夫 (社会前)	10 権能正男 (無所属新)				
札幌市	1	300	10,063	8,650	1,531	6,141	5,323	5,877	4,835	4,338	1,711	48,769	390	49,159
同	2	441	10,222	8,733	1,708	4,948	4,799	6,070	4,542	5,143	1,769	48,375	362	48,737
同	3	1,290	9,175	13,863	3,329	8,694	5,461	9,432	4,746	9,798	2,450	68,238	538	68,776
同	4	516	10,331	13,207	3,156	7,411	6,434	10,083	4,938	12,135	2,390	70,601	613	71,214
同	5	444	9,515	12,184	2,653	8,392	5,460	9,946	3,663	9,071	2,544	63,872	680	64,552
同	6	445	11,212	12,880	2,710	8,657	6,396	8,930	6,594	9,269	3,047	70,140	573	70,713
計		3,436	60,518	69,517	15,087	44,243	33,873	50,338	29,318	49,754	13,911	369,995	3,156	373,151
小樽市	1	48	527	1,588	872	9,641	1,507	2,533	5,743	1,390	2,792	26,641	288	26,929
同	2	32	643	1,620	842	5,440	1,690	1,962	6,208	1,079	2,861	22,377	193	22,570
同	3	27	673	1,494	719	5,196	1,550	1,853	4,709	856	3,634	20,711	131	20,842
同	4	55	836	2,010	895	7,375	1,606	2,565	6,018	2,164	3,483	27,007	194	27,201
計		162	2,679	6,712	3,328	27,652	6,353	8,913	22,678	5,489	12,770	96,736	806	97,542
江別市	107	1,935	3,894	744	2,608	3,132	2,453	2,453	1,003	3,438	1,948	21,262	135	21,397
千歳市	137	3,862	2,432	366	1,834	4,517	2,760	2,760	5,290	2,109	1,836	25,143	197	25,340
手稲町	135	1,517	2,565	434	1,929	1,036	1,597	1,597	1,237	2,140	485	13,075	123	13,198
広島村	46	572	640	126	433	568	417	417	198	425	246	3,671	35	3,706
石狩町	61	387	455	42	576	1,095	332	332	263	182	230	3,623	37	3,660
当別町	61	1,076	1,194	282	1,148	1,460	585	585	1,332	933	778	8,849	88	8,937
新篠津村	68	379	320	25	121	493	139	139	159	90	354	2,148	20	2,168
厚田村	7	159	253	14	335	316	352	352	389	185	92	2,102	25	2,127
浜益村	17	106	641	17	546	383	334	334	172	192	621	3,029	55	3,084
恵庭町	157	2,795	2,114	234	1,115	2,237	1,350	1,350	3,169	1,027	1,252	15,450	137	15,587
石狩支庁計	552	6,991	8,182	1,174	6,203	7,588	5,106	5,106	6,919	5,174	4,058	51,947	520	52,467

島	牧	村	4	31	186	8	295	785	182	556	64	34	2,145	14	2,159
寿	都	町	13	166	348	32	685	709	271	1,288	152	189	3,853	29	3,882
黒	松	内	8	236	377	244	310	363	217	477	479	120	2,831	40	2,871
蘭	越	町	31	327	675	51	672	681	354	958	590	670	5,009	69	5,078
ニ	セ	コ	16	273	480	47	288	539	310	526	321	373	3,173	41	3,214
真	狩	村	7	183	372	18	261	502	190	294	62	215	2,104	25	2,129
留	都	村	12	106	243	13	446	189	96	179	47	88	1,419	14	1,433
壹	茂	別	26	169	606	37	307	521	329	491	397	259	3,142	34	3,176
京	極	町	8	135	345	15	356	647	198	450	445	361	2,960	31	2,991
俱	知	安	19	535	1,040	134	1,550	1,365	765	1,515	1,649	818	9,390	86	9,476
共	和	村	32	126	588	26	785	1,015	360	972	816	420	5,140	42	5,182
岩	内	町	31	507	1,449	241	1,833	2,607	1,090	1,088	648	955	10,449	77	10,526
泊	村	村	5	91	305	112	521	378	156	334	103	56	2,061	21	2,082
神	恵	内	2	71	241	6	377	291	107	114	124	25	1,358	12	1,370
積	丹	町	6	70	384	19	532	1,167	236	514	80	279	3,287	21	3,308
古	平	町	1	77	355	24	367	2,325	268	198	254	192	4,061	38	4,099
仁	木	町	8	262	324	58	961	491	236	639	317	197	3,493	20	3,513
余	市	町	38	827	1,416	419	2,371	2,468	1,165	1,546	1,045	1,259	12,554	150	12,704
赤	井	川	3	92	92	78	244	101	76	149	92	200	1,127	19	1,146
後	志	支	270	4,284	9,826	1,582	13,161	17,144	6,606	12,288	7,685	6,710	79,556	783	80,339
市	計		3,842	68,994	82,555	19,525	76,337	47,875	64,464	58,289	60,790	30,465	513,136	4,294	517,430
支	計		822	11,275	18,008	2,756	19,364	24,732	11,712	19,207	12,859	10,768	131,503	1,303	132,806
合	計		4,664	80,269	100,563	22,281	95,701	72,607	76,176	77,496	73,649	41,233	644,639	5,597	650,236

第 2 区 (定員 4 人)

市町村名	届出番号				松浦寛太郎 (自民前)	有効投票	無効投票	合 計
	1	2	3	4				
	芳賀 寛	佐々木秀世	安井 吉典	五十嵐久弥				
	(社会前)	(自民前)	(社会前)	(共產新)				
旭 川 市 1	3,702	8,246	7,196	2,314	5,969	27,427	250	27,677
同 市 2	4,304	7,249	11,144	2,735	7,015	32,447	360	32,807
同 市 3	4,212	8,207	5,805	2,461	6,375	27,060	251	27,311
同 市 4	2,939	4,874	4,484	1,424	4,172	17,893	189	18,082
計	15,157	28,576	28,629	8,934	23,531	104,827	1,050	105,877
留 萌 市	3,020	2,972	3,193	792	5,453	15,430	187	15,617
稚 内 市	4,430	4,291	3,676	1,158	5,635	19,190	319	19,509
士 別 市	4,376	1,971	2,065	1,051	4,366	13,829	157	13,986
名 寄 市	3,273	2,304	2,972	813	5,958	15,320	138	15,458
富 野 市	3,170	1,959	3,649	1,087	4,680	14,545	291	14,836
東 鷹 栖 村	550	1,051	721	203	1,143	3,668	32	3,700
鷹 栖 村	465	1,358	883	322	926	3,954	64	4,018
神 楽 町	1,927	1,576	2,954	744	2,360	9,561	95	9,656
東 神 楽 町	19	121	2,627	40	436	3,243	32	3,275
当 麻 町	951	1,115	963	436	1,926	5,391	152	5,543
比 布 町	626	514	701	385	1,150	3,376	32	3,408
愛 別 町	852	1,014	643	213	1,303	4,025	54	4,079
上 川 町	1,468	815	2,028	237	832	5,380	57	5,437
東 川 町	179	628	1,910	168	1,409	4,294	36	4,330
美 瑛 町	1,423	1,636	2,265	726	2,922	8,972	103	9,075
上 富 良 野 町	865	1,786	1,291	248	3,224	7,414	106	7,520
中 富 良 野 町	703	1,344	612	182	1,416	4,257	33	4,290
南 富 良 野 村	1,486	428	626	143	849	3,532	30	3,562
占 冠 村	298	150	250	35	455	1,188	13	1,201
和 寒 町	1,352	1,132	275	238	1,509	4,506	69	4,575
剣 淵 町	2,132	402	138	301	628	3,601	38	3,639

朝日町	934	573	261	89	552	2,409	36	2,445
風連町	637	372	480	190	3,384	5,063	30	5,093
下川町	1,509	1,402	1,714	278	1,209	6,112	90	6,202
美深町	936	282	577	298	4,391	6,484	61	6,545
音威子府村	518	85	244	55	556	1,458	13	1,471
中川町	796	282	230	83	1,011	2,402	28	2,430
上川支庁計	20,626	18,066	22,393	5,614	33,591	100,290	1,204	101,494
増毛町	901	1,603	1,020	289	1,886	5,699	94	5,793
小平町	1,374	1,011	716	229	2,045	5,375	107	5,482
苫前町	865	1,013	588	208	1,805	4,479	72	4,551
羽幌町	2,013	4,782	1,551	393	4,046	12,785	320	13,105
初山別村	379	316	165	72	803	1,735	27	1,762
遠別町	783	703	385	238	1,306	3,415	52	3,467
天塩町	796	681	399	244	1,481	3,601	72	3,673
幌延町	779	273	339	144	886	2,421	36	2,457
留萌支庁計	7,890	10,382	5,163	1,817	14,258	39,510	790	40,290
猿払村	860	526	285	79	962	2,712	38	2,750
浜頓別町	1,309	1,011	403	134	672	3,529	22	3,551
中頓別町	970	335	434	83	924	2,746	30	2,776
枝幸町	1,063	1,003	684	283	1,709	4,742	51	4,793
歌登町	661	573	266	70	815	2,385	27	2,412
豊富町	1,075	1,104	459	252	847	3,737	52	3,789
礼文町	568	1,100	290	52	1,157	3,167	35	3,202
利尻町	384	445	326	55	1,692	2,902	23	2,925
東利尻町	468	603	233	48	1,362	2,714	28	2,742
宗谷支庁計	7,358	6,700	3,380	1,056	10,140	28,634	306	28,940
市計	33,426	42,073	44,184	13,835	49,623	183,141	2,142	185,283
支庁計	35,874	35,148	30,936	8,487	57,989	168,434	2,290	170,724
合計	69,300	77,221	75,120	22,322	107,612	351,575	4,432	356,007

第 3 区 (定員 3人)

市町村名	届出番号 氏 名	1						2						3						4						5						6						無効投票	有効投票	合 計
		小西 傍喜 (無所属新)						田中 正巳 (自民前)						山内 広 (社会前)						清野 清 (共産新)						本間 英作 (社会新)						佐藤 孝行 (自民前)								
函 館 市	1	1,626					9,670	10,705	2,243	1,108	7,649																33,001	713	33,714											
同	2	979					8,218	13,642	2,694	1,124	5,582																32,239	643	32,882											
同	3	1,190					10,439	13,793	2,349	1,451	5,783																35,005	553	35,558											
同	4	293					940	393	126	545	1,288																3,585	114	3,699											
	計	4,088					29,267	38,533	7,412	4,228	20,302																103,830	2,023	105,853											
松 前 町		225					4,249	400	120	1,126	1,944																	8,064	153	8,217										
福 島 町		155					2,265	240	81	802	1,001																	4,544	87	4,631										
知 内 村		191					1,424	172	23	502	746																	3,058	22	3,080										
木 古 内 町		182					1,282	582	148	1,612	761																	4,567	34	4,601										
上 磯 町		351					2,847	1,860	575	3,167	2,077																	10,877	140	11,017										
大 野 町		171					1,636	595	142	730	1,244																	4,518	86	4,604										
七 飯 町		249					2,263	1,052	226	1,196	1,976																	6,962	118	7,080										
亀 田 町		437					2,591	5,447	827	480	1,976																	11,758	198	11,956										
戸 井 村		286					662	132	31	501	971																	2,583	36	2,619										
尻 岸 内 町		329					607	111	42	683	1,757																	3,529	86	3,615										
榎 法 華 村		179					621	50	14	230	231																	1,325	15	1,340										
南 茅 部 町		228					979	177	57	834	2,751																	5,026	62	5,088										

鹿部村	104	248	51	22	470	970	1,865	29	1,894
砂原村	326	716	171	49	651	797	2,710	45	2,755
森町	886	1,568	506	205	2,211	2,164	7,540	156	7,696
八雲町	300	2,721	790	320	3,605	1,725	9,461	180	9,641
長万部町	55	1,216	329	444	4,060	765	6,869	69	6,938
渡島支庁計	4,654	27,895	12,665	3,326	22,860	23,856	95,256	1,516	96,772
江差町	192	1,654	571	309	1,904	1,404	6,034	56	6,090
上ノ国村	191	991	547	264	1,213	1,838	5,044	84	5,128
厚沢部町	66	1,962	384	70	854	936	4,272	41	4,313
乙部町	64	1,052	234	189	809	1,162	3,510	41	3,551
熊石町	48	1,267	192	93	828	632	3,060	51	3,111
大成町	26	909	96	32	370	1,162	2,595	39	2,634
奥尻町	79	1,275	159	32	454	1,181	3,180	46	3,226
瀬棚町	19	527	124	34	441	1,117	2,262	37	2,299
北桧山町	58	377	302	64	868	3,047	4,716	55	4,771
今金町	51	901	496	79	1,456	1,924	4,907	48	4,955
桧山支庁計	794	10,915	3,105	1,166	9,197	14,403	39,580	498	40,078
市計	4,088	29,267	38,533	7,412	4,228	20,302	103,830	2,023	105,853
支庁計	5,448	38,810	15,770	4,492	32,057	38,259	134,836	2,014	136,850
合計	9,536	68,077	54,303	11,904	36,285	58,561	238,666	4,037	242,703

第4区(定員5人)

市町村名	届出番号					氏名					有効投票	無効投票	合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
室蘭市	豊島 俊男 (共産新)	井野 正輝 (社会新)	南条 徳男 (自民前)	小平 忠 (民社前)	渡辺 惣蔵 (社会元)	篠田 弘作 (自民前)	岡田 春夫 (社会前)				72,055	600	72,655
夕張市	3,255	25,515	27,769	5,894	1,818	1,949	5,855				36,497	456	36,953
岩見沢市	1,757	431	2,622	1,975	1,992	4,021	23,699				28,368	297	28,665
苫小牧市	639	413	3,268	9,152	4,593	3,032	7,271				37,267	461	37,728
美唄市	1,286	11,359	2,156	5,124	1,385	12,863	3,094				27,503	306	27,809
芦別市	1,225	250	3,188	3,551	878	4,191	14,220				22,586	221	22,807
赤平市	908	261	2,931	2,812	9,872	3,234	2,568				19,766	418	20,184
三笠市	807	273	2,064	1,288	10,886	1,873	2,575				20,712	325	21,037
滝川市	939	232	1,678	1,542	9,545	1,857	4,919				17,544	141	17,685
砂川市	380	238	3,981	2,013	6,164	3,285	1,483				13,858	123	13,981
歌志内市	353	139	2,246	2,263	6,935	1,213	709				11,963	290	12,253
深川市	634	81	1,149	382	7,537	986	1,194				16,313	120	16,433
	443	209	4,046	3,360	4,449	2,861	945						
北村	36	17	307	2,392	44	406	321				3,523	70	3,593
栗沢町	122	77	890	2,966	329	978	4,086				9,408	67	9,475
南幌町	36	57	808	1,481	51	596	566				3,595	45	3,640
奈井江町	310	74	887	1,206	2,600	736	782				6,595	72	6,667
上砂川町	533	88	1,028	783	5,287	609	945				9,273	137	9,410
江部乙町	86	45	1,130	1,011	876	713	171				4,032	32	4,064
山仁町	94	115	893	1,579	136	1,240	1,656				5,713	83	5,796
長沼町	70	187	2,231	2,239	208	1,653	1,493				8,081	53	8,134
栗山町	96	131	1,730	3,814	250	1,606	2,953				10,580	67	10,647
月形町	53	38	839	873	95	846	749				3,493	29	3,522
浦臼町	25	24	616	814	118	495	473				2,565	17	2,582
新十津川町	72	55	632	1,727	1,015	1,709	334				5,544	47	5,591
妹背町	78	42	1,568	478	775	872	122				3,935	29	3,964
秩父別町	79	19	444	1,132	394	816	49				2,933	21	2,954
多志町	30	29	586	626	438	523	65				2,297	24	2,321
南竜町	15	17	349	624	601	1,246	90				2,942	31	2,973

北	竜	町	23	13	521	1,014	437	535	86	2,629	20	2,649
沼	田	町	150	65	609	2,165	2,448	811	436	6,684	117	6,801
幌	加	町	35	55	506	1,207	816	881	165	3,665	34	3,699
空	知	町	1,943	1,148	16,534	28,131	16,918	17,271	15,542	97,487	995	98,482
豊	浦	町	57	990	1,231	550	47	943	149	3,967	41	4,008
虻	田	町	63	2,129	1,225	511	115	1,405	259	5,707	86	5,793
洞	爺	村	7	192	481	210	21	565	79	1,555	14	1,569
大	滝	村	16	541	165	169	22	266	65	1,244	23	1,267
壮	警	町	27	1,230	559	340	21	677	126	2,980	38	3,018
伊	達	町	194	3,213	3,778	1,281	238	2,772	753	12,229	155	12,384
登	別	町	589	9,621	4,056	668	356	1,557	939	17,786	229	18,015
白	老	町	131	2,520	1,427	531	236	2,256	757	7,858	97	7,955
早	来	町	117	742	622	459	57	953	239	3,189	46	3,235
追	分	町	190	834	484	347	55	248	978	3,136	21	3,157
厚	真	町	38	1,467	830	814	57	993	114	4,313	47	4,360
鶴	川	町	126	1,131	1,421	746	47	844	124	4,439	51	4,490
穂	別	町	52	1,047	904	795	64	536	247	3,645	46	3,691
胆	支	町	1,607	25,657	17,183	7,421	1,336	14,015	4,829	72,048	894	72,942
日	高	町	84	770	585	224	36	285	128	2,112	20	2,132
平	取	町	63	1,655	868	977	103	1,234	314	5,214	77	5,291
門	別	町	344	1,555	1,537	1,100	177	1,890	402	7,005	62	7,067
新	冠	町	118	1,152	665	515	71	1,153	198	3,872	59	3,931
静	内	町	394	2,619	2,464	965	323	2,493	849	10,107	116	10,223
三	石	町	75	837	1,047	867	111	1,015	210	4,162	63	4,225
浦	河	町	846	2,611	2,363	943	368	2,011	727	9,869	115	9,984
様	似	町	196	985	673	626	122	1,574	336	4,512	34	4,546
幌	泉	町	53	710	542	362	55	1,623	186	3,531	71	3,602
日	支	町	2,173	12,894	10,744	6,579	1,366	13,278	3,350	50,384	617	51,001
市	計		12,626	39,401	57,098	39,356	66,054	41,365	68,532	324,432	3,758	328,190
支	計		5,723	39,699	44,461	42,131	19,620	44,564	23,721	219,919	2,506	222,425
合	計		18,349	79,100	101,559	81,487	85,674	85,929	92,253	544,351	6,264	550,615

第 5 区 (定員 5 人)

市町村名	1 氏 名	2 岡田 利春 (社会元)	3 森田 洲右 (無所属新)	4 藤本 国夫 (無所属新)	5 日光 福治 (共産新)	6 松江 鉄藏 (自民前)	7 中川 一郎 (自民前)	8 永井勝次郎 (社会前)	9 美濃 政市 (社会新)	有効投票	無効投票	合 計
釧路市	武 本名 (自民前)	3,530	11,037	338	2,792	1,833	4,007	632	881	73,952	1,074	75,026
帯広市	市	16,029	510	2,273	1,614	349	14,722	597	17,543	55,493	394	55,887
北見市	市	2,944	399	165	3,266	6,905	3,494	14,989	667	33,902	264	34,166
網走市	市	2,398	333	133	1,397	3,696	2,532	5,958	786	17,958	223	18,181
紋別市	市	809	106	64	773	7,010	452	6,095	250	15,799	165	15,964
根室市	市	2,548	468	114	510	3,018	2,678	273	263	16,448	238	16,686
東女川町	琴 別	157	53	25	89	598	434	618	63	2,059	15	2,074
美津町	幌 別	371	92	27	127	907	1,051	1,088	74	3,782	55	3,837
津別町	町	1,977	516	112	386	950	3,394	3,831	294	11,595	104	11,699
斜里町	町	1,195	182	35	351	639	869	2,710	90	6,104	91	6,195
清里町	町	610	368	30	341	2,018	655	2,980	293	7,425	99	7,524
小清水町	町	308	230	48	122	852	786	1,789	113	4,357	43	4,400
端野町	町	341	121	28	175	736	935	1,776	273	4,471	46	4,517
訓子府町	町	130	52	19	152	1,659	448	848	161	3,503	30	3,533
置戸町	町	308	230	46	244	1,167	850	1,203	200	4,291	49	4,340
留辺町	町	973	122	26	236	807	653	2,205	154	5,203	37	5,240
佐呂間町	町	724	239	52	393	1,858	632	4,344	197	8,508	86	8,594
常呂町	町	138	144	17	427	2,356	290	2,152	185	5,753	42	5,795
生田町	町	139	93	40	146	1,390	433	1,301	150	3,714	54	3,768
遠軽町	町	47	48	7	108	831	374	1,362	32	2,816	20	2,836
白上町	町	538	265	49	571	3,091	979	3,723	227	9,516	91	9,607
湧別町	町	33	29	5	201	1,044	215	1,699	18	3,249	30	3,279
湧上町	町	24	43	10	37	814	54	912	37	1,938	37	1,975
滝川町	町	94	108	25	146	1,959	513	1,722	88	4,683	26	4,709
滝上町	町	82	107	15	141	1,565	931	1,375	99	4,327	40	4,367
滝部町	町	89	85	27	109	1,932	224	2,562	79	5,119	47	5,166
興部町	町	203	123	31	146	1,434	237	1,365	119	3,688	53	3,741
西武町	町	138	53	3	37	663	68	585	36	1,590	12	1,602
雄武町	町	85	110	3	90	1,454	622	1,473	154	4,008	38	4,046
網走市	計	8,704	3,413	677	4,775	30,724	15,649	43,623	3,136	111,699	1,145	112,844

哲士	更幌士	上鹿	新清	芽水	室	中	更	忠	大	広	幕	池	豊	本	足	陸	浦	十	銅	厚	浜	標	弟	阿	鶴	白	音	釧	別	中	標	羅	根	市	支	合	
町	町	町	町	町	町	町	村	村	村	町	町	町	町	町	町	町	町	計	村	町	町	町	町	町	町	村	町	町	計	計	計	計	計	計	計	計	
2,866	948	1,295	1,538	1,689	1,881	1,804	460	309	181	524	370	934	919	931	1,504	1,753	927	1,814	22,647	349	672	959	807	890	658	231	1,104	397	6,067	1,450	1,324	567	359	3,700	27,689	41,118	68,807
281	76	154	84	324	302	161	34	27	31	82	214	139	413	92	385	315	186	416	3,716	1,270	2,845	1,456	2,954	2,661	5,429	687	4,150	2,600	24,052	2,404	2,760	1,288	965	7,417	59,941	38,598	98,539
79	14	26	23	51	71	58	5	5	0	5	27	25	37	12	35	28	10	67	578	223	366	299	360	284	425	109	438	82	2,586	147	142	58	61	408	12,853	4,570	17,423
348	44	82	63	123	252	178	24	25	13	43	40	98	159	58	142	343	200	137	2,372	13	91	32	52	45	34	5	70	32	374	52	50	14	22	138	3,087	3,561	6,648
352	253	127	60	134	161	228	48	53	13	52	54	241	187	85	148	200	60	123	2,579	68	141	124	229	125	235	86	518	169	1,695	386	128	30	70	614	10,352	9,663	20,015
47	415	26	83	66	28	15	2	4	6	103	112	13	78	18	1,125	325	687	120	3,273	424	631	456	203	643	435	118	119	36	3,065	894	576	546	1,025	3,041	22,811	40,103	62,914
4,356	1,175	737	1,242	1,243	2,450	2,664	576	1,293	633	2,352	3,981	1,464	2,006	1,276	2,166	1,687	657	2,271	34,229	436	2,522	782	1,721	709	611	239	903	759	8,682	1,587	1,415	598	688	4,288	27,885	62,848	90,733
91	16	28	21	72	58	49	9	14	6	28	42	38	120	32	106	138	97	76	1,041	21	60	36	73	105	102	22	55	20	494	129	112	43	57	341	28,544	45,499	74,043
3,454	1,322	2,235	1,503	2,232	2,352	3,047	1,142	815	616	1,662	919	5,718	3,241	1,621	1,985	2,884	1,222	1,475	39,445	48	80	53	255	80	89	75	118	32	830	367	221	81	24	693	20,390	44,104	64,494
11,874	4,263	4,710	4,617	5,934	7,555	8,204	2,300	2,545	1,499	4,851	5,759	8,670	7,160	4,125	7,596	7,673	4,046	6,499	109,880	2,852	7,408	4,197	6,654	5,542	8,018	1,572	7,475	4,127	47,845	7,416	6,728	3,225	3,271	20,640	213,552	290,064	503,616
89	22	44	18	25	31	51	10	9	8	29	66	39	68	21	45	60	30	43	708	73	105	53	104	88	115	32	174	60	804	88	57	25	51	221	2,358	2,878	5,236
11,963	4,285	4,754	4,635	5,959	7,586	8,255	2,310	2,554	1,507	4,880	5,825	8,709	7,228	4,146	7,641	7,733	4,076	6,542	110,588	2,925	7,513	4,250	6,758	5,630	8,133	1,604	7,649	4,187	48,649	7,504	6,785	3,250	3,322	20,861	215,910	292,942	508,852

12 月 の メ モ

- 1 ○自民党臨時大会開く、佐藤総裁を再選。
○南極観測船「ふじ」船出、観測恒久化の第一歩。
- 3 ○第53臨時国会開会。
○第3次佐藤内閣発足。
- 9 ○社会党大会終わる、佐々木委員長を3選。
○離島対策審議会、地域別の離島振興基本方針を決める、産業後継者を確保、本道各島生産所得2倍半に。
○通産省、本年度の電気事業の現状（電力白書）を発表、需給さらに安定、今後の課題、安く良質に。
○冷害対策審議のための第2回臨時道議会開会、会期2日間。
- 13 ○経団連、明年度の経済見通しを発表、実質成長率8.7%、設備投資は11%の増。
- 15 ○第4回定例道議会開会、会期10日間を決定。
- 16 ○経済企画庁、41年度の年次世界経済報告を閣議に提出、欧米にインフレ、日本経済の環境きびしき増す。
○ことしの交通事故による死者、史上最高を記録、全国で1万3,310人。
- 20 ○第53臨時国会終わる、自民党単独で補正予算等を可決。
○農林省、41年産米推定収穫量を発表、史上第4位の収穫1,274万トン、本道は7分作、67万3,000トン、平年より32万トン減収。
- 24 ○大蔵省、明年度の国債、政保債発行規模決める、国債8,200億円、政保債5,100億円。
○鉄道建設審議会、青函トンネル50年度まで完成へ、鉄道建設へ長期計画。
- 26 ○第4回定例道議会閉会。
- 27 ○第54通常国会開会、冒頭憲法第7条により解散、明年1月8日公示、29日投票日。
○道、41年版北海道経済白書を発表、一次産業の安定、流通機構の整備が重要な課題。

昭和42年 1 月20日発行

北海道議会時報 (第19巻
第1号)

編 集 北海道議会事務局調査課

発 行 北海道議会事務局